

埼玉県のマスコット コバトン

埼玉県 獣医師会 会報

第 608 号

平成26年 6 月20日編集

発 行 所
公益社団法人 埼玉県獣医師会
〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-340
(埼玉県農業共済会館内)
電 話 048(645) 1 9 0 6
F A X 048(648) 1 8 6 5
E-mail : s-vma@vesta.ocn.ne.jp
URL : <http://www.saitama-vma.org/>
振替口座 00110 - 9 - 195954番

発行責任者 高 橋 三 男

編集責任者 三 森 信 行

印 刷 所 (株)アサヒコミュニケーションズ

記 事 の 内 容

(公社) 埼玉県獣医師会第66回定時総会・
懇親会開催…………… 1

埼玉県獣医師政治連盟総会開催……………22

獣医麻酔外科学会・日本獣医循環器学会・
日本獣医画像診断学会 2014年春季合同
学会 大宮ソニックシティで開催……………23

高橋三男会長と樋口邦利埼玉県議会議長
とが会談
ー公務員獣医師の処遇改善などを要請ー……………25

会務報告

第2回総務委員会……………26
第3回総務委員会……………26
第2回理事会……………26

予告

さいたま市支部学術講習会のお知らせ……………27
東支部学術講習会のお知らせ……………27

新入会員報告

新入会員紹介……………28

ひろば

新入会員の抱負……………29

お知らせ

平成26年度関東・東京合同地区獣医師大会
(山梨)、獣医学術関東・東京合同地区学会
の参加申込について……………30
鳥獣保護センターの開設について……………31
狂犬病予防注射済証等の証明書に使用する
筆記具について……………32
「薬事法及び薬剤師法の一部を改正する法律」
等の施行について……………33
第23回県獣ボウリング同好会親睦大会開催の
お知らせ……………34

切り抜きニュース

○犬を「暑さ」から守ろう……………35
○狂犬病予防法違反疑い
ー静岡中央署 男女8人書類送検ー……………36
○無免許で犬にワクチン
ー容疑の元経営者ら2人に逮捕状ー……………36

埼玉県獣医師会学術広報版……………37

事務局より

事務局メモ……………39

編集後記……………40

公益社団法人 埼玉県獣医師会 会員憲章

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は、それぞれの職域において、その責務を遂行し、県民の福祉増進に寄与するため、ここに会員憲章を定めます。

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は

1. 動物の生命を守り、ひとびとの生活を豊かにしよう
1. 獣医学術を研鑽向上し、確信を持って業務に邁進しよう
1. 動物愛護思想を向上し、心豊かな生活をしよう
1. 環境衛生を向上し、福祉増進の実をあげよう
1. 職域を尊重し、倫理の昂揚をはかろう

(公社)埼玉県獣医師会第66回定時総会開催

平成26年6月11日(水)午後2時から、さいたま市「大宮ラフォーレ清水園」に於いて、200名の会員を始め、多くの御来賓等、総勢250名を超える関係者が出席して、公益社団法人としては2回目となる第66回定時総会が盛大に開催され、全ての議案が原案のとおり可決・承認されました。



高橋三男埼玉県獣医師会会長挨拶

総会は、総務委員会の三森信行委員長(西支部)と青山利雄副委員長(東支部)が総司会者となり、各総務委員が役割を分担して、次により進められました。

(1) 開会のことば

中村滋副会長が開会を宣言した。

(2) 埼玉県獣医師会員憲章の唱和

田村嘉浩委員(西支部)の進行により、全会員が起立し「会員憲章」の唱和を行った。

(3) 物故会員に対し黙祷

青山利雄副委員長の進行により、昨年度御逝去された、北支部・五十嵐幸男先生、小島義男先生、東支部・伊藤正義先生、衛生支部・村上充廣先生並びに農林支部・宮本英二先生の御冥福を祈り、全員起立し黙祷を捧げた。



全員起立して会員憲章を唱和

(4) 会長あいさつ

公益社団法人埼玉県獣医師会としては第2回目となる第66回定時総会が、県内各地から多数の会員に出席いただき、開会できましたことに心から感謝申し上げます。

また、本日は上田知事代理の高山農林部長、埼玉県議会の石井環境農林委員長、そして、日本獣医師会からは、衆議院議員6期を務められ、内閣官房副長官及び農林水産副大臣を歴任した日本獣医師会顧問で日本獣医師政治連盟委員長の北村直人様、元日本大学総長で現在は日本獣医師会学術担当理事でもあり、次期日本獣医師会総会において副会長に御就任予定の酒井健夫先生、並びに、矢ヶ崎専務理事の3人をお迎えするなど、多くの御来賓の方々に御臨席を賜り総会を開会できますことに厚く御礼申し上げます。

本日は、2部制とさせていただいております。午後5時からはお忙しいなか、上田知事をはじめ、さいたま市長、埼玉県議会議長、さいたま市議会議長、そして、衆議院議員19名、参議院議員4名、県議会議員15名、さいたま市議会議員14名など、日ごろ、埼玉県獣医師会に御支援と御指導を賜っている関係の皆様方に御臨席をいただき、懇親を深める企画をしております。どうか、会員の皆様方におかれましては、ともに、一日、御臨席いただく方々に感謝しながら公益法人としての大きな第一歩を踏み出す総会にさせていただきたいと思います。

なお、本日は、獣医師会の発展に大変お骨折り頂いた比留間一男先生をはじめとする諸先生方への祝寿や功労会員表彰のほか、本会の顧問税理士の間嶋先生や同じく顧問弁護士で第二東京弁護士会副会長に御就任された土屋総合法律事務所の高橋先生及び、学術ビデオテープのデジタル化に御

尽力いただいた会員の関先生に特別感謝状を授与するとともに、24名の明日の埼玉県獣医師会を担う若きゴールドensterも迎えて開催する総会でもありますので、皆様におかれましては、御協力のほど、よろしくお願いいたします。

さて、獣医師を取り巻く環境の変化は、日進月歩はもとより、秒進分歩の歩みであります。この変化の中にあって、私達の業務も急速に多様化してまいりました。獣医師には、生命産業の発展向上、動物愛護、自然環境の保全など多くの役割が期待されております。一方、開業獣医師を取り巻く環境は、近代高度医療や24時間診療に対する飼育者からの要望が増すばかりであります。人と動物が共生できる環境が、日に日に強く求められている状況にあります。

ある調査によりますと、我が国では、犬が1,087万頭、猫が974万頭、合計2,000万頭を上回る家庭動物が飼育され、また、4分の1の世帯が、何らかの家庭動物を飼育していると報告されています。15歳以下の子供たちが1,655万人ですので、子供たちよりも多い家庭動物が、生活を伴っています。正に人と動物の共生社会そのものであらうと認識しております。この時こそ、動物関係団体の望ましい体制を緊急に強化、整えるべきと考えているところであります。

少子高齢化や飼育動物の減少の中にあって、毎年、1,000名の国家ライセンスを持った卒業生が、各々の分野で活躍することとなりますが、その約40%、400名が小動物や一部ではありますが産業動物の分野に、その他は大方公務員を志向しており、獣医療を通して地域に貢献している姿が現状であらうと思っております。

しかし、近年では、飼育動物が減少しております。産業動物分野は、T P P など、厳しい状況に

置かれておりますし、高齢化と後継者不足により、畜産を廃業しようとする流れもあるわけです。

動物病院におきましても然りであります。企業関係者が大きな資本を背景にペット産業に進出しており、私達は、日に日に大きくなる足音を耳にする今日このごろであります。

このような状況にあって、日本獣医師会は、昨年、藏内勇夫新会長の下で新しいスタートを切りました。我が国では、今、経済優先の政治が執り行われていることは事実です。戦後、我が国は、アメリカ流の経済によって価格破壊と規制緩和が進み、日常の買い物はもとより、社会や経済の全てが競争によって成り立つと言う風潮に大きく変化いたしました。量販店の販売価格は、1円2円を争う状況であり、正に商業ベースで社会が動いております。

獣医師の分野におきましては、診療料金がその一つとなります。動物病院では予防接種を商業ベースで捉え安い注射料金で顧客を引き付けるような営業も芽生えてきており、これが大きく広がっています。

この様ななかで、我々獣医師の現場の声を聴き、しっかりとした方針を立て、その方針を地方の会員に的確に伝えることが、日本獣医師会に求められている最も重要な課題であろうと思っております。

昨年の日本獣医師会の役員改選におきまして、私は、引き続き、関東地区獣医師会連合会から理事という立場に御推挙いただき、理事会の場におきまして、現場の声をより大きく発言をさせていただいております。このようななかで、藏内会長は、日本獣医師会と地方会との情報共有をさらに深めたいとの主旨で、新たに、会則を変更して全国会長会議を立ち上げ、私がその会議の常設議長

の指名をいただきました。微力ではありますが、様々な現場の声を大切にして活動していきたいと考えております。本日は、日本獣医師会から3人の先生方に御臨席いただいておりますので、この機会に御挨拶を賜ることとしておりますが、特に、北村先生は、地方会の総会にお出でいただくことが、ここ埼玉が初めてとのことでもあり、お話を色々としていただけることと思っております。私からは、日本獣医師会の現況について要点を述べさせていただき、詳細は日本獣医師会から現況と未来についてお話していただきたいと存じます。

私は現況を正確に認識することこそ、過去と未来の対話であろうと思っております。現在を認識せずして、過去や未来を語ることはできません。過去と未来とが対話する時と場所が現在であります。

まず、1点目は、公務員獣医師の処遇改善に関する都道府県獣医師会の対応についてであります。この件につきましては、五十嵐会長以降、現在の藏内会長も力をいれているところであります。医師や歯科医師は6年制であり、獣医師も就学年数においては差は有りませんが、待遇や職域については、ややもすれば、差があるわけであります。

藏内会長には、福岡県議会議員7期、そして自民党県議団長としての政治力をもって、この問題に真っ向から対応していただいております。北村先生とは二人三脚で御尽力いただいております。埼玉県におきましても、日本獣医師会と歩調を併せて、勤務獣医師の待遇改善に取り組んでいきたいと思っております。

戦後間もなくの頃は、農家の玄関に入ると脇に牛小屋があり、この当時から人と動物は共生していました。昔からこのような光景は見られましたが、これは農耕文化の日本において、牛や馬が農

業に欠かせない労働力であったためであります。戦後は、文明の進歩とともに、農業機械が発達し牛や馬の存在価値が薄れ産業動物は減少してまいりました。その結果、獣医師の職域も狭まり、獣医師の仕事の減少につながっていきました。やがて経済状況も良くなるにつれ、家庭にもゆとりが生まれ、番犬など、犬の飼育が普及し始めましたが、これが小動物獣医師の原点であります。現在では、野良犬はほとんど見受けられず、家庭動物は全てペットショップで購入し、企業化されたなかで、繁殖から生涯を通じてのペット産業が展開されています。最近では、人の高齢化と同様に、ペット産業は、関心の高い事業として動物の高齢化対策にも力を入れております。ここまで企業が業務を多様化してきているなか、我々獣医師は、午前9時から午後7時まで診療し、その後の空白の時間への対応を真剣に検討していかなければなりません。

動物が減少してきている状況にあって、動物病院も24時間体制を整えていくことが大切ではないかと思えます。個人では困難なことも、獣医師のネットワークを活用して、飼主に安心していただくために24時間体制をつくる必要があります。幸いにして、埼玉県には小林圀仁先生が、県南地域でいち早く、このような体制づくりの意思を抱き、現在では、南第一、第二支部の先生方が出資により、病院が建設され、時間外に来た患者には全てこの施設を紹介し、翌日には病院に戻ってくるといった体制を獣医師会会員の中で行っております。このようなことを先駆けて行っていくことが獣医師会の役割であると思っています。

今では、どうぶつの総合病院として安藤社長のもとで、株式会社としてりっぱに埼玉県獣医師会会員の動物病院との連携を図っておられます。

小林圀仁先生の先見性に改めて敬意を表するところです。

このような状況のなかで、獣医師に関わる問題の一つとして、四国4県で獣医科大学を新設しようとする動きがあります。これは経済成長特区を活用して設立しようとするもので、医療関係では、医学部の新設と国際的な病院の設置の構想に加え、この獣医科大学の新設があります。新設の理由を獣医師偏在の解消としており、設置に向けての運動を展開しております。

日本獣医師会としては、我が国の国公立16大学の教育レベルを、国際水準に適合したものにしていけることを優先すべきであり、そのために、大学の強化充実、国公立大学の定員の整理統合により、より効率的な大学を編成すべきとの考えに基づき、藏内会長と北村先生を中心に四国4県の動きに反対しております。

また、獣医師の不足については、27,000人の獣医師のうち、20、30歳代の女性獣医師を中心に700人の獣医師が職域に関係しない分野におり、この先生方の国家ライセンスを活かしていく工夫が必要となります。従って、埼玉県獣医師会としても、この四国での獣医科大学設置には断固反対するとして、本日12時からの理事会において満場一致で決議いたしました。

獣医師を取り巻く環境は、日々、厳しくなっており、狂犬病対策も大変な問題を抱えております。犬のためでなく人の命と健康を守るために法律で定められている狂犬病予防注射を、今後どのように推進すべきかが、最大の課題であります。藏内会長は就任早々、20人の学識経験者と現場の第一線で活躍する先生方による特別委員会を立ち上げました。この委員会には中村滋副会長が選出され、また、もう一つの「医師会と獣医師会との

連携特別委員会」委員には、小暮一雄副会長が選出され日本獣医師会において活躍いただいております。

ペット関係の企業が各都道府県獣医師会に入会の申し込みをしてきております。公益法人としては、入会希望者を拒む理由は何一つありませんが、このような問題に対しましては、日本獣医師会が窓口になってどのように対応するか、日本獣医師会としての道標を示していただけるようお願いをしているところです。各地方会が個々に企業病院と交渉するのではなく、日本獣医師会が窓口となり、そして、詳細な点は各都道府県の地域性を加味した中で検討すべきであると思います。

また、動物病院経営も、労働基準法に基づかなければならず、この点にも獣医師会が対応して行かなければなりません。企業はシフト制を取り24時間体制の中で巧みに営業方針を決めてまいります。私たちもそれに少しでも近づけるよう、体制の確立に獣医師会として努力せねばならないと思っています。

狂犬病の集合予防注射は、全国的に毎年5%ずつ減少しており、本県でも昨年は11万頭、今年は10万5千頭と減少しており、このままでは、来年は10万頭と予想され、減少に歯止めがかかる気配はありません。一方、動物病院で予防注射を受ける方も増えてきており、この傾向をどのように受け止め対応していくかが、獣医師会の喫緊の課題と認識しております。

また、会員の動向についてであります。我が国では、毎年1,000人が獣医師免許を取得しておりますが、会員数の増加が認められません。これからの獣医師会は、あらゆる関係機関と共存・共栄し、組織を大きくしなければなりません。「組織は力で、力の源は数」と言われております。この

ため、入会の促進方策について、関係各位と十分検討を加えてまいります。

五十嵐元日本獣医師会会長、前埼玉県獣医師会会長が昨年9月18日に逝去され、全国から御弔問いただきましたことに改めて厚く御礼申し上げます次第です。

昨年のこの席で、五十嵐会長は、私に「これから、どうなる？動物病院の未来は。どうする？獣医師会は。」と申されました。これが先生と私の最後の会話でありました。今思うに、五十嵐先生は、小動物病院がペット産業により大きく変化を求められてくる時代を見据えていたのだと思います。「獣医師会は心配ありません」と答えた私は、皆様とともに五十嵐会長が残した功績を活かしていきたいと思っております。昨日より今日、今日より明日、私たちは一日一日、進歩をしているかもしれませんが、これからの時代は進歩だけでは世の中の期待に応えていくことはできません。進歩しながら組織のなかで大きく変革し進化していかなければなりません。

私はこの顔かたちを両親から授かり、健康に恵まれたことを親に感謝しています。しかし、顔かたちは変えることはできませんが、頭脳はインターネットなどの近代文明を活用して、バージョンアップしていくよう努力しております。

私は、会長として会員や関係機関の皆様とお互いに手を携えながら、共に進歩と進化を遂げ、期待される埼玉県獣医師会を更に構築していきたいと決意を新たにしております。

本日は、皆様の暖かい御支援、御協力により総会の議案を円滑に御承認いただき、懇親会が盛大に開催できますことを心から御祈念申し上げ御礼とお願いを兼ねました挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございました。



ご来賓の皆様

前列右から 日本獣医師会顧問 北村直人様(壇上)、埼玉県知事代理 埼玉県農林部長 高山次郎様、
埼玉県議会環境農林委員長 石井平夫様、日本獣医師会学術担当理事 酒井健夫様、
日本獣医師会専務理事 矢ヶ崎忠夫様、埼玉県畜産会副会長 青木雄治様、
埼玉県養豚協会顧問 松村昌雄様、埼玉県肉用牛経営者協会会長 植井敏夫様
後列右から 埼玉県畜産安全課長 中島一郎様、同生活衛生課長 黒崎嘉子様、
同食品安全課長 伊藤誠一様、同みどり自然課長 野口典孝様、
埼玉りそな銀行さいたま営業部営業第二部長 井古田晃伸様、
武蔵野銀行地域サポート部長 宮崎裕雅様、(株)ヘリテージ代表取締役 杉田憲康様、
学校法人シモゾノ学園理事長 下園恵子様、テレビ埼玉プランニング営業部長 岩崎武様

(5) 議長等選出

議事に先立ち、総合司会の三森信行委員長から、本日午後2時30分現在の出席会員数は、本人出席191名、委任状提出者465名、合計656名であり、正会員数849名の過半数であることから定款第17条の規定により本総会は成立している旨が報告された。

続いて議長等の選出方法を諮ったところ、出席者からの「司会者一任」の声により、司会者が議長に比留間一男先生(西支部)、副議長に美馬典城先生(衛生支部)を指名し、選任された。

また、総会運営委員として、総会運営規定第2条により各支部から推薦されている次の委員が紹介された。

さいたま市支部	道野徹子先生
南第一支部	小林罔仁先生
南第二支部	中村英次先生
西支部	川嶋 聡先生
北支部	高野宣彦先生
東支部	石井邦彦先生

衛生支部	橋谷田元先生
農林支部	岩田信之先生
団体支部	山岸郭郎先生

議長及び副議長が登壇し、就任の挨拶と議事進行に対する協力を求め着席した。



円滑な議事運営に御尽力頂いた
左から 議長の比留間一男先生、副議長的美馬典城先生

(6) 議事録署名人の選出及び書記の指名

議長は議事録署名人に吉野賢一先生（農林支部）、篠宮哲彦先生（衛生支部）、また書記に大濱龍男先生（衛生支部）、村山悠子先生（衛生支部）を指名した。

(7) 議事

報告事項 平成26年度事業計画および収支予算に関する件

本件について議長の求めに応じ、事務局 林繁雄専務理事が平成26年度事業計画並びに収支予算の概要を報告した。

議長は、事業計画並びに収支予算は理事会の決議事項であり、総会に報告することとされている旨を説明にした上で、確認したい事項の発言を求めたところ、発言はなく、以上をもって本件報告は了承された。

決議事項

第1号議案 平成25年度事業報告の承認に関する件

議長は第1号議案を上程し、求めに応じ事務局 水島健雄常務理事が平成25年度事業の実施内容を報告した。

議長が質疑を求めたところ質問・意見はなく、平成25年度事業報告の承認について議場に諮ったところ拍手多数をもって本議案は承認された。

第2号議案 平成25年度決算の承認に関する件

議長は第2号議案を上程し、求めに応じ事務局 林繁雄専務理事が平成25年度決算について「貸借対照表」、「正味財産増減計算書」、「同内訳書表」、「財務諸表に対する注記」、「附属明細書」及び「財産目録」により説明した。

次に、議長は監事に監査報告を求め、監事を代表して石黒富雄監事（南第二支部）から平成25年度事業報告並びに計算書類及びその附属明細書、財産目録について平成26年5月1日に監査したところ適正であった旨が報告された。

議長が質疑を求めたところ質問・意見はなく、平成25年度決算の承認について議場に諮ったところ拍手多数をもって本議案は承認された。

第3号議案 平成26年度会費（負担金）および入会金（案）に関する件



石黒富雄監事による監査報告

議長は第3号議案を上程し、求めに応じ事務局 林繁雄専務理事が会費及び入会金はともに平成25年度と同額としたい旨を説明した。

議長が質疑を求めたところ質問・意見はなく、平成26年度会費（負担金）および入会金の決定について議場に諮ったところ、拍手多数をもって本議案は原案のとおり可決決定された旨を宣し、（案）の削除を求めた。

第4号議案 平成26年度一時借入金の最高限度額および借入・預入先金融機関の決定に関する件

議長は第4号議案を上程し、求めに応じ事務局 林繁雄専務理事がそれぞれ平成25年度と同様としたい旨を説明した。

議長が質疑を求めたところ質問・意見はなく、平成26年度一時借入金の最高限度額および借入・預入先金融機関の決定について議場に諮ったところ、拍手多数をもって本議案は原案のとおり可決決定された。

第5号議案 平成26年度役員報酬に関する件

議長は第5号議案を上程し、求めに応じ事務局 林繁雄専務理事が理事及び監事の報酬の総額を590万円以内とし、公益社団法人埼玉県獣医師会役員の報酬等に関する規程に基づき支給したい旨を説明した。

議長が質疑を求めたところ質問・意見はなく、平成26年度役員報酬の決定について議場に諮ったところ、拍手多数をもって本議案は原案のとおり可決決定された。

続いて、付帯決議について、議長の求めに応じ、事務局 林繁雄専務理事が説明した。議長が付帯決議を付すことについて諮ったところ異議はなく、拍手多数により承認された。

ここで議長は、全議案の審議の終了を宣し、議長及び副議長の任を解くとともに円滑な議事運営に関して謝辞を述べ降壇した。

(8) 祝寿表彰および記念品贈呈・功労会員証の贈呈

大澤健委員（さいたま市支部）から、米寿6名、喜寿9名、古稀8名が紹介され、それぞれの代表者に高橋会長から祝寿表彰状及び記念品が贈呈された。

続いて功労会員9名が紹介され、同様、功労会員証及び記念品が贈られた。



高橋三男会長による祝寿表彰
受賞者は比留間一男先生(西支部)

(祝寿表彰者)

米寿	北支部	柿沼元治先生 (代表受賞者)
	農林支部	鷹觜尚夫先生
	団体支部	吉田 清先生
	団体支部	水村義夫先生
	団体支部	天沼言高先生
	団体支部	星野清蔵先生
喜寿	西支部	比留間一男先生 (代表受賞者)
	北支部	佐藤澄美先生
	衛生支部	鈴木正乃先生
	衛生支部	吉沢滋男先生
	衛生支部	疊 厚司先生

農林支部	池本英志先生
農林支部	塚田 明先生
農林支部	菅野幸基先生
団体支部	阿部勲雄先生
古稀	さいたま市支部 竹野清次先生 (代表受賞者)
西支部	花輪優樹先生
北支部	田坂邦安先生
衛生支部	山本孝明先生
衛生支部	名雪博二先生
農林支部	齊藤憲彦先生
農林支部	三友 勇先生
団体支部	水落一雄先生

(功労会員)	さいたま市支部 竹野清次先生
西支部	花輪優樹先生
北支部	外園孝二先生
北支部	田坂邦安先生
衛生支部	山本孝明先生
衛生支部	名雪博二先生
農林支部	原 義博先生
農林支部	齊藤憲彦先生 (代表受賞者)
農林支部	三友 勇先生

また、全ての受賞者が起立する中で、代表して柿沼元治先生（北支部）が謝辞を述べられた。



代表して高橋三男会長に謝辞を述べる柿沼元治先生
(北支部)

謝 辞

ご指名によりまして甚だ僭越ではありますが、私、受賞者一同に代わりまして御礼の言葉を申し上げさせていただきます。

只今は、第六十六回定時総会の席上におきまして、埼玉県知事、日本獣医師会長様を始め御来賓の諸先生方の御臨席のもと、米寿、喜寿、古稀、功労の栄誉ある賞に浴しましたことは、誠に有難く身にあまる光栄と存じております。

本日まで、埼玉県獣医師会の一員として、本会の役員の皆様を始め、諸先生方からの平素変わらぬ優しいお励ましの言葉など数知れず戴き、お陰様で大過なく年を重ねて来られましたことは、偏に御支援、御指導による賜と信じ、心より念じ深く感謝申し上げます次第であります。

私共は今後も、本日の栄誉を忘れること無く尚一層「自分の健康は自分で守る」の一語を胸に会員として、また、獣医師として 夫々の道に精進し社会に貢献出来ます様に努力致す所存でありますので、何卒、相変わらずの御指導、御鞭撻の程を宜しく御願い申し上げます。

終わりに臨みまして 公益社団法人埼玉県獣医師会の益々のご発展を祈念致しまして、受賞者を代表し、謝辞と致します。

平成二十六年六月十一日

公益社団法人 埼玉県獣医師会

北支部 柿沼 元治

(9) 感謝状の贈呈

清水章委員（北支部）から、埼玉県獣医師会の運営に多大なるお力添えを賜りました次の方々が紹介され、高橋会長から感謝状が授与されるとともに、記念品が贈呈された。

《感謝状の贈呈》

南第一支部 関 寛文 様

（研修用テープのデジタル化）

顧問弁護士 高橋謙治 様

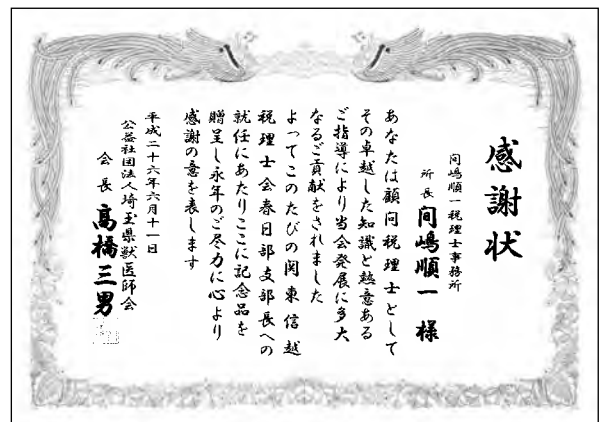
（第二東京弁護士会副会長就任）

顧問税理士 間嶋順一 様

（関東信越税理士会春日部支部長就任）



高橋三男会長から感謝状を授与された顧問税理士の間嶋順一様



間嶋順一様に授与された感謝状

(10) 平成26年度愛鳥週間野生生物保護功労者表彰状の伝達

続いて、清水章委員から、野生生物保護功労者として日本鳥類保護連盟会長賞を受賞した大山龍也先生（西支部）が紹介され、県みどり自然課長 野口典孝様から褒状が伝達された。

(11) 新入会員紹介

金子素奈穂委員（南第一支部）により、新入会員21名、転入会員3名の氏名が読み上げられ、紹介された。

(12) 来賓祝辞

三森信行委員長の進行により、次の方々から御祝辞を頂いた。

埼玉県知事 上田清司 様

(代理 埼玉県農林部長 高山次郎様)

埼玉県議会環境農林委員長 石井平夫様

日本獣医師会顧問 北村直人様

日本獣医師会学術担当理事 酒井健夫様

埼玉県畜産会会長 島村功作様

(代理 副会長 青木雄治様)



御祝辞を頂いた
埼玉県議会環境農林委員長 石井平夫 様



御祝辞を頂いた
日本獣医師会顧問 北村直人 様

日本獣医師会顧問 北村直人様 祝辞

本来なら藏内勇夫会長が埼玉県獣医師会の会員並びに執行部の皆様に感謝と御礼を申し上げるところですが、他の行事と重なり出席できませんので、代理で出席させていただきました。藏内会長に成り代わり、埼玉県獣医師会の将来が幸多からんことをお祈り申し上げます。

先ほどは、報告事項並びに決議事項が、皆様の

御理解の下、満場一致で決定し、高橋会長をはじめとする執行部の皆様が、出席の皆様をはじめ委任状を提出された先生方から信頼され一つになって運営されていることを拝見し、心を打たれました。心からお祝い申し上げます。

また、席上において、埼玉県獣医師会に永きにわたり貢献し功労された皆様が表彰を受けられ、心からお祝いを申し上げます。

私は獣医師会会員として45年になります。昭和61年には五十嵐幸男先生が日本獣医師会副会長の立場で私の国会事務所を訪れ、日本獣医師会の顧問への就任を依頼されました。それから、顧問を30年間務めさせていただいています。また、会員としての45年のうち、10年間は家畜診療所の診療獣医師でありました。その後、国会議員となり、政治活動を35年間、続けております。獣医師免許を持ち臨床経験を積んだ初めての国会議員でありました。顧問就任当時の杉山会長や五十嵐副会長の指導をいただきながら、これまで、獣医療や獣医師の仕事について国民への理解と地位向上に東奔西走してまいりました。

伝染病や人と動物の共通感染症は、増えることはあっても、減ることはありません。人と動物と環境の相関関係は非常に強く、獣医療を通じて「人と動物と環境」にどう立ち向かうが獣医師会に問われております。このため、埼玉県の臨床獣医師の先生方とともに農場管理獣医師協会を立ち上げ、会長を務めております。同協会のキャッチフレーズは「食卓の安全安心は農場から」であり、食の安全を目的に獣医師が生産現場から食卓までのあらゆる段階で信頼関係を構築し食の安全安心を届けることを理念としております。この理念に心を打たれて会長を引き受けた次第であります。

「管理獣医師」が改正された家畜伝染病予防法に位置付けられました。私たちは、このことを重く受け止めて、臨床獣医師や関連する獣医師の皆様と連携して安全な畜産物を提供し消費してもらう再生産可能な畜産にしていかなければなりません。

昨今では、防疫体制をしっかりとしていくことが問われております。そのためにはチーム獣医療が大切となり、多くの団体とコミュニケーションを取りながらガイダンスを作っていかなければなりません。先般の熊本県での鳥インフルエンザの

発生を1箇所の感染で終息させたことは、防疫体制が高度平準化された結果の現れです。高度な防疫体制を確立するために国がリーダーシップを取り各都道府県が同じレベルでの防疫体制を整えた上で、世界に通用する獣医学教育を確立していかなければなりません。そうなれば、公務員獣医師の処遇は、必然的に改善していきます。そのためには、獣医科大学の教育水準を上げていくことが必要であり、新しい獣医学部を創ることはありません。既存の大学の質や教員の質を向上させることが大切です。

四国に獣医科大学が無いとの理由で、某私学が特区を活用した獣医学科を設立したいとしていますが、四国だけに通用する国家資格など考えられません。全国で使えることが国家資格であり、特区で創る性格のものではないということが、日本獣医師会の考え方であり四国4県の獣医師会の考え方です。しかし、今治市に創る構想のため、地元の愛媛県獣医師会は、正面から反対できない状況にもあります。鹿児島大学と山口大学が共同で大学院を創ることをしていますが、四国に獣医科大学が必要となれば、例えば、この大学院を愛媛大学の中に設置したら如何でしょうか。考えれば良い折衷案があるはずですが、このようなことを考える国会議員はほとんどおりませんが、唯一、埼玉県の前川参議院議員には御理解いただいております。

高橋会長には、全国獣医師会会長会議の議長に就任して頂いております。55地方会と日本獣医師会が表裏一体、両輪として機能するために、日本獣医師会の考え方を地方会に理解して頂き、また、地方会の意見が日本獣医師会に届くことが大切です。そこで、全国獣医師会会長会議に息を吹き込む必要があり、高橋会長には常設議長に就任いただきました。全国の会長を通じて、会員の皆様に日本獣医師会の考え方を伝え、また、会員の皆様の考え方を吸い上げ日本獣医師会に伝えていただく大事な仕事を高橋会長にお願いしたところです。

物事は現場で起きております。埼玉県の皆様には現場の意見を集約し、日本獣医師会に届けて頂き、そして、現場で起きていることに、日本獣医師会が立ち向かい、答えを出していくことが、これからの日本獣医師会にとっての大きな歩みと

なっておりまします。

本日、新入会員として紹介された24人の若き獣医師の皆様方には、生涯現役として、獣医師として誇りを持って、堂々と胸を張ってリスクコミュニケーションできるインタープリターとしての役目を担っていただきたいと思います。

どうぞ、先輩方は、やさしく、ある時は強い口調で新入会員を見守って下さい。必ずや埼玉県獣医師会を背負って立って行く方々となります。

日本獣医師会は、埼玉県獣医師会とともに歩みながら将来の獣医師の姿、獣医師会の在り方を皆様とともに考え、皆様とともに学んでいきたいと考えております。

本日は、藏内会長に成り代わり、皆様方に御礼とお願いの挨拶をさせていただきました。誠にありがとうございます。



御祝辞を頂いた
日本獣医師会学術担当理事 酒井健夫 様

日本獣医師会学術担当理事 酒井健夫 様 祝辞

公益社団法人埼玉県獣医師会の第66回定時総会が円滑に終了したことを心からお祝い申し上げます。県民の福祉増進のために高橋会長のもとで会員の皆様方が一体となって取り組んでいる姿を目の当たりにしました。

医師会と獣医師会との連携につきましては、人畜共通感染症や食の安全などの分野で獣医師会が川上、医師会が川下の関係にあります。両会が連携することにより、国民に対して保健衛生の徹底が期待できるとの考えにもとづき、医師会と獣医師会の連携強化に取り組んでおります。また、獣医師会にとりましては、医師会と連携することで、組織力や政治力の面でスキルアップが図られ

ます。獣医師会が発展していく上で医師会が良い手本と言えます。

狂犬病対策につきましては、獣医師会には、公益法人として狂犬病予防法の適正な運用が求められます。特に、2020年に開催予定の東京オリンピックでは、馬術競技の馬や観光客に付き添う介助犬が、海外から多く持ち込まれることから、狂犬病の防疫体制の充実強化を図る必要があります、この点について国や県に働きかけてまいります。

また、女性獣医師の支援に関連して実施したインターネットを活用した調査には5,000件近くの回答がありました。現在、調査の取りまとめを行っており、問題点を整理して今後の施策に生かしていくこととしております。

この調査では、女性獣医師からは、職場環境の改善と復職への対応を望む声が強くありました。現在、20～40歳代の女性を中心に750名の獣医師が、獣医師関係の職業に就いていない状況にあります。医師として就業していない医師が0.7%であるのに対し、獣医師では14%と高く、女性獣医師の活用を図るためにも安心して復職できる環境を整備することが我々に求められていることです。

次に、獣医師の待遇改善と教育の問題についてです。獣医師が不足していると言われているが、これは獣医師の数が不足しているのではなく、地域偏在と職域偏在が起きているためであります。日本では、国民100万人に対して獣医師が241名でありドイツやフランスとほぼ同程度であり、不足している状況とは言えません。従って、多くの獣医師に獣医師として就業してもらうことと、6年制教育としての価値を引き上げていく運動を展開していきたいと考えています。

どうぞ、今後とも御支援を賜ります様、お願い申し上げます。

(13) 来賓紹介

三森信行委員長が御来賓を紹介した。

来賓

埼玉県農林部長	高山次郎様
埼玉県議会環境農林委員長	石井平夫様
日本獣医師会顧問	北村直人様
日本獣医師会学術担当理事	酒井健夫様
日本獣医師会専務理事	矢ヶ崎忠夫様

埼玉県畜産会副会長	青木雄治様
埼玉県養豚協会顧問	松村昌雄様
埼玉県肉用牛経営者協会会長	植井敏夫様
埼玉県農林部畜産安全課長	中島一郎様
埼玉県保健医療部生活衛生課長	黒崎嘉子様
埼玉県保健医療部食品安全課長	伊藤誠一様
埼玉県環境部みどり自然課長	野口典孝様
埼玉りそな銀行さいたま営業部営業第二部長	井古田晃伸様

埼玉りそな銀行さいたま営業部	
営業第二部グループリーダー	塩田浩司様
武蔵野銀行常務執行役員	
地域サポート部長	宮崎裕雅様
武蔵野銀行営業推進部	
営業推進グループ副グループ長	市川琢也様
(株)ヘリテージ代表取締役	杉田憲康様
シモゾノ学園国際動物専門学校	
大宮国際動物専門学校理事長	下藺恵子様
テレビ埼玉ブランニング営業部長	岩崎 武様
土屋総合法律事務所 顧問弁護士	鶴田 進様
土屋総合法律事務所 顧問弁護士	荒木邦彦様
間嶋順一税理士事務所所長	顧問税理士

間嶋順一様

埼玉県中央家畜保健衛生所所長	金子文男様
埼玉県川越家畜保健衛生所所長	須賀幸司様
埼玉県熊谷家畜保健衛生所所長	岩田信之様
埼玉県農林総合研究センター	
畜産研究所長	吉野賢一様
埼玉県秩父高原牧場長	鉢須桂一様
埼玉県食肉衛生検査センター所長	久保忠直様
埼玉県動物指導センター所長	三田和正様

賛助会員

アクティ(株)専務取締役	降旗弘雄様
アクティ(株)	
動薬事業部副事業部長	久保博巳様
アクティ(株)	
さいたま営業所所長	金子 顕様
(株)アスコC A担当取締役	周藤耕二様
(株)アスコ東日本支店副支店長	相川富男様
森久保薬品(株)営業本部取締役副本部長	鈴木登志夫様
森久保薬品(株)埼玉事業部部長	小林絵梨子様
日本全薬工業(株)埼玉事業所所長	小川 勝様

日本全薬工業(株)野田事業所所長 橋本憲輝様
 三和メディカル(株)会長 板橋利男様
 (株)武蔵野ペット霊園代表取締役 山川勝弘様
 (株)アサヒコミュニケーションズ会長
 新井正敏様

(14) 閉会のことば

小暮一雄副会長が総会運営に対する御礼を述べ、午後4時30分、閉会を宣言した。



左から 顧問弁護士の鶴田進様、荒木邦彦様、顧問税理士の間嶋順一様

第66回通常総会出席者数（最終出席者）

支部名	さいたま市	南第一	南第二	西	北	東	衛生	農林	団体	合計
本人出席	36	15	7	20	24	40	17	27	14	200
委任状出席	28	30	10	52	29	44	105	73	94	465
合計	64	45	17	72	53	84	122	100	108	665

賛助会員 7社（12名）

総会

◆「動物関係団体の体制整備を」 埼玉県獣医師会（高橋三男会長）は11日、さいたま市大宮区のラフォーレ清水園で第66回定時総会を開催した。会員ら約200人が出席し、2013年度事業報告や14年度事業計画「人と動物の共通感染症対策の推進」など11議案を承認した。高橋会長は、獣医師の業務が地域からの期待に応えようと多様化してきたことに触れ、「人と動物の共生社会には動物関係団体の体制を整えることが急務。獣医師会が率先して体制整備をしていかなければならない」と力強く述べた。写真。懇親会には、上田清司知事をはじめ政財界から多数の来賓が出席。上田知事は多方面での獣医師による支援に感謝しつつ「新入会員の獣医師の先生方の今後の活躍に期待したい」とエールを送った。（石野佳奈）



埼玉県獣医師会 新入会員の紹介

懇親会では、新入会員の紹介と花束の贈呈が行われました。金子素奈穂委員(南第一支部)が出席された新入会員の先生を紹介。高橋三男会長から入会を祝して一人ひとりに花束を贈呈し、新入会員からは自己紹介をしていただきました。



前列 左から

森田肇先生(団体支部)、大町美穂先生(衛生支部)、伊藤知子先生(団体支部)、瀧沢慶太先生(農林支部)、上原大地先生(団体支部)、杉山公一先生(農林支部)、石原弘樹先生(衛生支部)、増田淳先生(衛生支部)、山本慎也先生(北支部)、池嶋佳代子先生(さいたま市支部)、永野憲次先生(さいたま市支部)、伊藤宏太先生(団体支部)

後列 左から

(公社)さいたま観光国際協会会長 清水志摩子様、小暮一雄副会長、中村滋副会長、高橋三男会長、埼玉県知事 上田清司様、埼玉県議会議長 樋口邦利様、日本獣医師会顧問 北村直人様、日本獣医師会学術担当理事 酒井健夫様、今井拓哉先生(北支部)

上田埼玉県知事や埼玉県市長会会長の田中暄二久喜市長からの励ましの言葉の後、高橋会長が「新しく入会された皆さんは21世紀を担う期待の星。我々は、獣医師ライセンスを持った者だけができる仕事を国家から任されている。生涯を通じ、国のため人のために頑張ってください。諸先輩方は、時には厳しく、折に触れ優しく御指導いただきたい。」との言葉がありました。

続いて、山本慎也先生(北支部)が「来賓、諸先輩方の前で高橋会長から花束をいただき感謝するとともに身の引き締まる思いです。入会に際しましては、諸先輩方の丁寧な御指導をいただき感謝しています。本日の喜びを忘れずに会員として、獣医療のプロとしての誇りを持ち続け、地域社会に貢献できるよう努力したい。」との誓いを述べました。



入会を祝して行われた「くす玉割り」

ここで、入会を祝して「くす玉割り」が行われました。新入会員の方々に加え、高橋会長、上田知事、樋口議長、日本獣医師会の北村顧問、酒井理事らで4本の紐が引かれると、中からは「入会おめでとう」の文字が現れ、満場の拍手がおくられました。

昨年に入会した今井拓哉先生(北支部)から新入会員に向けて「皆様は期待と不安の中で入会したことと思う。入会後の1年を振り返ると、高橋会長をはじめ、支部の諸先輩方に親身に指導していただきながら、集合狂犬病予防注射や学術講習会などに参加でき充実した一年を過ごせた。皆様も埼玉県獣医師会の一員として誇りを持ち、共に社会貢献ができるように精進しましょう。」と歓迎の辞を述べ、この後、上田清司埼玉県知事、樋口邦利埼玉県議会議長等とともに記念撮影を行いました。

(公社)埼玉県獣医師会総会 懇親会

懇親会は、第66回定時総会に引き続き、午後5時から埼玉県知事上田清司様を始め多くの御来賓をお迎えして盛大に開催され、三森信行総務委員長の司会により進行されました。



高橋三男会長の開会挨拶
手前は 埼玉県知事 上田清司様

(1) 会長挨拶

第66回定時総会が皆様の御協力により無事に終了したことを心より御礼申し上げます。この懇親会には、埼玉県知事上田清司様、日本獣医師会顧問の北村直人様をはじめ、国会議員、県議会議員、さいたま市議会議員など多くの御来賓の皆様にご臨席いただいている。会員の皆様には、この機会に多くの方々と交流を深めていただきたい。

(2) 来賓の祝辞

御出席を頂いた多くの御来賓の皆様から、御祝辞を頂きました。

埼玉県知事 上田清司様の御祝辞



埼玉県知事 上田清司様

本日は、第66回埼玉県獣医師会総会後の懇親会にお招きいただきありがとうございます。本席には、県議会を代表して樋口邦利議長をはじめ大勢の県会議員の皆様、また、柴山昌彦衆議院議員をはじめ多くの衆参国会议員の方々、そして、さいたま市会議員の皆様方、並びに多くの来賓の皆様をお迎えして、盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

高橋会長をはじめ獣医師会の皆様方には、本県の狂犬病対策や人と動物の感染症対策、また、動物愛護対策など、各方面にわたって様々な御支援や御協力をいただいているところです。

正に、世界が狭くなり、中国で鳥インフルエンザ、台湾で狂犬病など、近隣地域での伝染病の発生が、直ちに日本に影響いたします。また、3年ぶりに熊本県で鳥インフルエンザが発生しました。常にこうした事態に対する危機管理が要求される今日ですが、獣医師会の先生方には、時として犬猫の愛玩動物への対応もされておられますし、反面、危機管理においては、厳しい局面での様々なお力添えを賜わるようなことが多くあります。

このような意味において、高橋会長から新しい会員の皆様方には大いなる励ましとともに、埼玉県のために皆と一緒に頑張るとの大きな目的を持って活動に取り組んでいただいております、改めて心から感謝するところです。

どうぞ、新入会員の先生方も、これからは、オール埼玉でしっかりと獣医師会のお仕事をさせていただきたいと思います。

これは、感染症ではありませんが、間もなくワールドカップブラジル大会が始まります。寝不足病と言う病気が日本全国にまん延するかもしれません。これは正に危機管理でもありますので、大いに注意していただき事故のないように応援していただくようお願い申し上げます、御挨拶に代えさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

埼玉県議会議長 樋口邦利様の御祝辞



埼玉県議会議長 樋口邦利様

第66回埼玉県獣医師会総会に当たり、議長の立場から県議会を代表いたしまして御挨拶を申し上げます。また、高橋会長には大変お世話になっており、この場を借りてお礼をさせていただきます。

先ほどは、総会の席で顕著な御功労、御功績を上げられた皆様が表彰に浴せられたと伺っております。長年にわたる皆様の御苦勞に対し深く敬意を表するとともに、今後の更なる御活躍を期待いたします。

さて、1980年代半ばから始まったと言われるペットブームにより、今や動物は私達の生活に欠かせない存在となっております。一般社団法人ペットフード協会が行った「ペット飼育の効用に関する調査」によりますとペットを飼育することによって、16歳未満の子供では心が豊かに育ち家族とのコミュニケーションも豊かになったとの結果が示されております。また、65歳以上の高齢者では、「情緒が安定するようになった」、「寂しがるのが少なくなった」などの効用が述べられております。さらには、「夫婦の会話が多くなった」、「夫婦の関係が和やかになった」などの効用もあるとのことでした。

今や、「ペットを飼う」から「ペットと一緒に暮らす」と言うように、私たちの健やかな暮らしと豊かな心は多くの動物たちに強く支えられていま

す。そのため、動物の健康管理や飼育相談に御活躍されている獣医師の皆様、そして獣医師業務の先導的立場にある獣医師会の役割は大変重要なものであります。

県議会といたしましても議案審議や議員連盟等の活動を通じ畜産業の振興はもとより動物の命を尊重し、人と動物が真に共生できる社会実現に全力を尽くしてまいります。今後とも皆様には、より一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。

結びに、公益社団法人埼玉県獣医師会の益々の御発展と御参会の皆様様の御健勝、御活躍を心から祈念させていただき挨拶とさせていただきます。誠にありがとうございました。

日本獣医師会顧問 北村直人様の御祝辞

本日は、埼玉県に拠点を置く農場管理獣医師協会の会長として御礼とお願いを申し上げます。

埼玉県産の彩さい牛が昨年からタイ国に輸出できるようになりました。昨年12月にはタイ国の日本大使館で彩さい牛が振る舞われたとのこと。この彩さい牛の生産農場を管理しているのが農場管理獣医師協会の獣医師です。上田知事にはタイ国を訪問されて彩さい牛をPRしていただき、お陰様で需要も高まってきておりますが、皆様方には御支援のほどよろしくお願いいたします。本日は、誠にありがとうございます。

自由民主党獣医師問題議員連盟

参議院議員 古川俊治様の御祝辞

本日は多くの国会議員をお招きいただいておりますが、党の獣医師問題議員連盟に属し、保健医療関連団体の一員として獣医師の先生方との交流が長いということで、先に挨拶をさせていただきます。

埼玉県獣医師会の皆様には、大変お世話になっております。私が獣医師の先生方と仕事をさせていただいたのは、議員になる以前のことで、人と



参議院議員 古川俊治様

動物の共通感染症の問題でありました。今日でも、この問題は日本にとって最も脅威となるものであります。多くの疾患が克服された中で、感染症だけは未だに大きな危険性を持っています。高病原性鳥インフルエンザは、海外での人への感染事例によりますと70%が死亡する極めて重い症状を呈する疾病です。国内での感染例はありませんが、万が一、人から人に感染することになれば、大変、混乱する事態に陥ることになります。そのために、様々な連携体制を取り、未然に防御していかなければなりません。日本医師会と日本獣医師会とが、人と動物の共通感染症の分野で手を組み、国民の健康のために頑張っていくことが、今、望まれていることだと思います。

私が獣医師の先生方と進めてきたことでもありますが、新しい医療機器や新しい治療方法を動物の分野で開発し、これを人に応用していくことが必要です。新しい医療機器などは、日本の成長産業として最も期待されるものであり、今後もこの分野で皆様方と手を携えて頑張っていきたいと思っております。

本日は、お招きいただき誠にありがとうございます。

(3) 乾杯

乾杯の御発声は、日本獣医師会の矢ヶ崎忠夫専

務理事をお願いいたしました。矢ヶ崎専務理事は、公務員の処遇改善について、これまでの経過を説明するとともに改善活動への協力を要請した後、公益社団法人埼玉県獣医師会の益々の発展と御臨席の皆様方の御健勝、御活躍を祈念して、大きく乾杯していただきました。



日本獣医師会専務理事 矢ヶ崎忠夫様の音頭で大きく乾杯

(4) 来賓の祝辞並びに紹介

国会議員の皆様の紹介

御出席の国会議員の先生方にそれぞれ御挨拶と自己紹介をお願いいたしました。

御出席された国会議員の先生方(選挙区順)

衆議院議員 村井英樹 様(埼玉第1区)
 衆議院議員 新藤義孝 様(埼玉第2区 代理)
 衆議院議員 黄川田仁志様(埼玉第3区 代理)
 衆議院議員 豊田真由子様(埼玉第4区)
 衆議院議員 枝野幸男 様(埼玉第5区 代理)

衆議院議員 中根一幸 様(埼玉第6区 代理)
 衆議院議員 神山佐市 様(埼玉第7区)
 衆議院議員 柴山昌彦 様(埼玉第8区)
 衆議院議員 山口泰明 様(埼玉第10区 代理)
 衆議院議員 野中 厚 様(埼玉第12区 代理)
 衆議院議員 土屋品子 様(埼玉第13区 代理)
 衆議院議員 三ツ林裕巳様(埼玉第14区 代理)
 衆議院議員 田中良生 様(埼玉第15区 代理)
 衆議院議員 牧原秀樹 様(比例区)
 衆議院議員 今野智博 様(比例区 代理)
 衆議院議員 大島 敦 様(比例区)
 衆議院議員 武正公一 様(比例区 代理)
 衆議院議員 輿水恵一 様(比例区 代理)
 衆議院議員 小宮山泰子様(比例区 代理)
 参議院議員 関口昌一 様(埼玉選挙区 代理)
 参議院議員 古川俊治 様(埼玉選挙区)
 参議院議員 大野元裕 様(埼玉選挙区 代理)
 参議院議員 西田実仁 様(埼玉選挙区 代理)

合計 23 名

国会議員の御祝辞

国会議員を代表して次の皆様から御祝辞を頂きました。

自由民主党埼玉県支部連合会副会長

衆議院議員 柴山昌彦様

民主党埼玉県総支部連合会代表

衆議院議員 大島 敦様



国会議員の紹介

左から、村井英樹様、
 豊田真由子様、神山佐市様、
 牧原秀樹様、柴山昌彦様、
 大島敦様



自由民主党を代表して、
埼玉県支部連合会副会長 衆議院議員 柴山昌彦様



民主党を代表して、
埼玉県総支部連合会代表 衆議院議員 大島敦様

埼玉県議会議員の皆様の紹介

御出席の埼玉県議会議員の先生方にそれぞれ御挨拶と自己紹介をお願いいたしました。

御出席された埼玉県議会議員の先生方(選挙区順)

- 蒲生徳明 様(南第1区 草加市)
- 鈴木 弘 様(南第4区 さいたま市北区)
- 高木真理 様(南第4区 さいたま市北区)
- 井上将勝 様(南第6区 さいたま市見沼区)
- 田村琢実 様(南第6区 さいたま市見沼区)

- 宮崎栄治郎様(南第10区 さいたま市南区)
- 小島信昭 様(南第12区 さいたま市岩槻区)
- 佐藤征治郎様(南第12区 さいたま市岩槻区)
- 中屋敷慎一様(南第16区 鴻巣市(旧鴻巣市、旧吹上町))
- 西山淳次 様(西第1区 所沢市)
- 樋口邦利 様(東第5区 久喜市(旧久喜市))
- 石井平夫 様(東第6区 蓮田市)
- 岡 重夫 様(東第7区 久喜市(旧菖蒲町)、白岡市、宮代町)
- 白土幸仁 様(東第8区 春日部市(旧春日部市))
- 枝久保喜八郎様(東第13区 幸手市)

合計 15 名

埼玉県議会議員の御祝辞

埼玉県議会議員を代表して福祉保健医療委員長
田村琢実様から御祝辞を頂きました。



埼玉県議会福祉保健医療委員長 田村琢実様

さいたま市議会議員の皆様の紹介

御出席のさいたま市議会議員の先生方にそれぞれ御挨拶と自己紹介をお願いいたしました。



埼玉県議会議員の紹介
左から、宮崎栄治郎様、
西山淳次様、佐藤征治郎様、
鈴木 弘様、蒲生徳明様、
岡 重夫様、田村琢実様、
枝久保喜八郎様、白土幸仁様、
高木真理様、井上将勝様



さいたま市議会議員の紹介
左から、阪本克己様、
神崎 功様、桶本大輔様、
土橋貞夫様、青羽健二様、
萩原章弘様、高野秀樹様、
上三信 彰様、野呂多美子様、
吉田一志様、伊藤 仕様

御出席されたさいたま市議会議員の先生方(選挙区順)

上三信彰 様(西区)
関根信明 様(北区)
伊藤 仕 様(北区)
新藤信夫 様(大宮区)
土橋貞夫 様(桜区)
阪本克己 様(桜区)
青羽健仁 様(浦和区)
萩原章弘 様(南区)
桶本大輔 様(南区)
神崎 功 様(緑区)
江原大輔 様(岩槻区)
吉田一志 様(岩槻区)
高野秀樹 様(岩槻区)
野呂多美子様(岩槻区)

合計 14 名

さいたま市議会議員の御挨拶

さいたま市議会議員 土橋貞夫様の御祝辞



さいたま市議会議員 土橋貞夫様

本日は埼玉県獣医師会第66回定時総会並びに懇親会にお招きいただきありがとうございます。

高橋会長をはじめとする会員の先生方には、獣医師としての専門性を活かしながら、私たちの生活に欠かすことのできない動物達の健康、食の安全安心、動物愛護など多方面で御協力を賜わり感謝申し上げます。さいたま市議会といたしましても人と動物が豊かで幸せに暮らせる社会を目指して皆様とともに取り組んでまいります。埼玉県獣医師会の益々の御発展と参会の皆様の御健勝での御活躍を祈念申し上げます

引き続き、御来賓から御祝辞

さいたま市副市長 本間和義 様



さいたま市副市長 本間和義様

さいたま観光国際協会会長 清水志摩子 様



さいたま観光国際協会会長 清水志摩子様

(5) 祝電の披露

司会者から次の皆様から頂いた祝電・メッセージが披露されました。

厚生労働副大臣	衆議院議員	土屋 品子 様
衆議院議員		山口 泰明 様
衆議院議員		三ツ林裕巳 様
衆議院議員		今野 智博 様
衆議院議員		大島 敦 様
参議院議員		関口 昌一 様
参議院議員		大野 元裕 様
埼玉県議会副議長		加藤 裕康 様
埼玉県議会議員		佐久間 実 様
埼玉県医師会長		金井 忠男 様
埼玉県農業共済組合連合会会長		小森谷武雄 様
(株)埼玉りそな銀行取締役会長		上條 正仁 様
(株)埼玉りそな銀行代表取締役社長		池田 一義 様

(株)埼玉りそな銀行執行役員埼玉営業本部長

中野 真治 様

武蔵野銀行頭取

加藤喜久雄 様

(6) 締め

宴もたけなわとなり恒例となりました中村滋副会長によるエールの後、「締め」に移りました。司会者の三森信行総務委員長の指名により、日本獣医師会から御臨席いただいた北村直人様、酒井健夫様、矢ヶ崎忠夫様に御発声をお願いし手締めが行われました。

(7) 閉会

閉会にあたり石黒富雄監事が御参加いただいた方々に御礼を述べ、懇親会は午後7時、お開きとなりました。

埼玉県獣医師政治連盟総会開催

平成26年6月11日、埼玉県獣医師会第66回定時総会に先立ち、午後1時20分から、さいたま市「大宮ラフォーレ清水園」で開催されました。

渋谷正志理事の司会により、中村滋副理事長の開会の言葉、高橋三男理事長の挨拶、日本獣医師政治連盟の北村直人委員長の祝辞の後に、議事に入りました。

議事は、大橋秀樹議長(東支部)、田中裕副議長(南第一支部)により進められました。第1号議案「平成25年事業報告および収支決算の承認に関する件」が上程され、事務局 林繁雄専務理事が説明し、林文夫監事による監査報告の後、議長が質

疑を求めたが質問、意見はなく、本件の承認について諮ったところ拍手多数により原案のとおり承認されました。

続いて、第2号議案「平成26年事業計画および会費徴収(案)に関する件」が上程され、事務局説明の後、議長が質疑を求めたが質問、意見はなく、本件の決定について諮ったところ拍手多数により原案のとおり可決決定されました。

以上をもって議事は終了し、議長、副議長は円滑な議事運営に御礼を述べ、小暮一雄副理事長の開会の言葉をもって、午後1時40分、閉会となりました。

獣医麻酔外科学会 日本獣医循環器学会 日本獣医画像診断学会 2014年春季合同学会 大宮ソニックシティで開催

標記学会が、さいたま市の「大宮ソニックシティ」で開催されました。「大宮ソニックシティ」での開催は8年目となりますが、埼玉県獣医師会では、地元で開催され会員も参加しやすい総合的な学会であることから、毎年、本学会を「後援」し、獣医学術の研鑽向上のため、参加登録料の低減措置や開業会員の先生方への参加登録料の一部助成措置を講じて参りました。

本年度は、東京大学の担当で開催されましたが、学会の理事として御尽力された埼玉県獣医師会副会長の小暮一雄先生から開催報告を頂きましたので、謹んで掲載させていただきます。



右から

竹村直行日本獣医循環器学会理事（日本獣医生命科学大学教授）、諸角元二獣医麻酔外科学会理事（東支部）、廉沢剛獣医麻酔外科学会会長（酪農学園大学教授）、西村亮平獣医麻酔外科学会大会長（東京大学教授）、桑原正貴日本獣医循環器学会大会長（東京大学教授）、高橋三男会長、小山秀一日本獣医循環器学会会長（日本獣医生命科学大学教授）、中村滋副会長、矢代直文公益社団法人さいたま観光国際協会専務理事、小暮一雄日本獣医循環器学会理事（副会長）

日本獣医循環器学会理事 小暮一雄（埼玉県獣医師会副会長）

梅雨の晴れ間の視く6月14日（土）と15日（日）の2日間大宮ソニックシティを会場に日本獣医循環器学会、獣医麻酔外科学会および日本獣医画像診断学会の春季合同学会が開催されました。本合同学会は、公益社団法人埼玉県獣医師会の絶大な後援を賜り、お陰様で会員参加者950名を超える大会となりました。高橋三男獣医師会長の直接のお声かけにより、さいたま観光国際協会より多大な助成金の提供を受け、無事大会を運営することが

できましたことをまずご報告申し上げます。

獣医循環器学会の創立は1962年（昭和37年）と言われ今年で満52年を迎え、学会大会も節目となる100回を数えます。獣医麻酔外科学会は88回、画像診断学会は55回の大会でした。最近の学会の方向は、高度医療機器や先端医療技術の導入を競い動物や飼い主の思いから乖離する傾向が垣間見られました。獣医学はscienceとartを基礎として疾患の解明を目的とし、獣医療は獣医学を実践す

ることにより動物の《生》を全うすることにあると思われます。この事のためには必ずしも高度先端医療技術が求められるのではなく、旧来の医療技術であっても心の通う《仁術》が求められる事も有りましょう。

100回の節目となった獣医循環器学会は、Keene 先生(North Carolina State University)を招聘して犬の僧帽弁疾患についての特別講演を企画しました。講演の概要は、僧帽弁疾患の病理形態、臨床徴候、機能障害(心不全)の病態生理を解説し病期による治療法の紹介でした。治療については、全米の数名の有力教授の意見集約に基づく治療法の合意内容が紹介されていました。(しかし、推奨された治療法が全米の獣医循環器学会の公式な合意ではありませんでした。)紹介された内容は、利尿剤、ACEIs(アンギオテンシン変換酵素阻害剤)や強心剤であり、従来我が国で行われている基本的なものでした。多くの聴衆は、画期的な治療法の紹介を望んでいましたが期待はずれでした。これは、欧米と我が国における飼い主の治療に対する考え方の違いによるものでした。欧米では心不全動物の死因の大半は安楽死であり、我が国の場合のように最後まで治療を継続することが稀とのことでした。したがって、治療はACEIsに始まり、心不全の進行とともに利尿剤や強心剤が追加され、症状を制御できなくなると安楽死というコースを辿るようでした。キリスト教思想に基づく西洋哲学における動物の存在は、人間の支配下に有り人間の生活に支障のない範囲での生存の許容と考えれば、犬の病気が人間生活に過大な負担にならない範囲での治療が社会のコンセンサスであるようでした。終末期獣医療に悩む日本の獣医師と安楽死を患者動物のQOLを得る手段と明快に言い切る欧米の獣医師との差異を目の当たりにしました。



獣医循環器学会100回記念講演で質問に立った西支部・小暮一雄先生(右) 左は、講演した Keene 先生(North Carolina State University)

哲学者の梅原 猛氏は、近著『人類哲学序説』(岩波新書)の中で、21世紀の哲学は自然との調和を基調とする仏教思想—草木国土悉皆成仏—に基づく哲学の構築が必要と説いています。生死に日常的に直面する獣医療人としては、確かな生命倫理観に基づく獣医療の実践によりそれぞれの動物の《生》が完結することに貢献できればと願います。

今後も各学会が science と art に基づく生命倫理の確立を目指し、獣医学を発展・展開することを希求したいと考えています。最後に、埼玉県獣医師会会員諸先生方のご支援に心より感謝を申し上げます。

(事務局から)

本合同学会開催に当たっては、小暮一雄先生(西支部)及び諸角元二先生(東支部)が学会理事として参画したほか、発表者として埼玉県獣医師会会員の先生も御活躍されました。

また、参加者は動物看護師や関連企業等の関係者も含めるとこれまでの最高の約1,300名で、本会会員の先生方も69名(開業支部会員43名、団体支部等会員26名)が参加されました。

なお、平成27年度は6月11日(金)～13日(日)の3日間で、日本大学が担当して大宮ソニックシティで開催予定です。多くの先生方の参加をお待ちしております。

高橋三男会長と樋口邦利埼玉県議会議員とが会談 —公務員獣医師の処遇改善などを要請—

6月11日午後4時30分から大宮ラフォーレ清水園の2F「嵯峨野の間」において高橋三男会長と樋口邦利埼玉県議会議員との会談が行われました。

会談には、日本獣医師会の北村直人顧問と酒井健夫学術担当理事、また、埼玉県獣医師会からは金子文男理事(埼玉県中央家畜保健衛生所所長)、久保忠直理事(埼玉県食肉衛生検査センター所長)が同席しました。席上、高橋会長は樋口議長に対し公務員獣医師の社会的役割の重要性について説明した上で、獣医師の処遇改善と人材確保につい

て要請するとともに、全国的な問題として日本獣医師会および地方獣医師会が連携して改善に取り組んでいる旨を伝え理解を求めました。

また、北村顧問と酒井理事からは、獣医学教育や獣医師の現況と将来について説明いただきました。樋口議長は獣医師の役割は都道府県自治体にとって大変重要である。処遇改善の趣旨は十分理解できるので、全国都道府県議会議員会場の場などでも、しっかりと議論し改善に向け取り組んでいきたいと応じられました。

広告

動物病院・ペットショップなどのペット環境および施設の衛生管理に — ペットクリーンナビ

PET CLEAN NAVI

M MORIKUBO



消臭・除菌
ウイルス除去

二酸化塩素水

安心のペット環境づくりに。
同梱のタブレットを溶解してご使用ください。

電解アルカリイオン水

洗浄・除菌

ペットと環境に優しいのに驚きの洗浄力！
二度拭きいらずの洗浄・除菌水。



スプレー各1本入りの
お得なセット



【容 量】 各100mL

M 森久保薬品株式会社 神奈川県厚木市栄町 1-8-17
TEL: 046-222-2333(代)

東京: 042-564-2381 埼玉: 04-2968-0881 三郷: 048-948-2112 神奈川: 046-221-0620 ツクバ: 0296-43-1661

山梨: 055-224-5278 群馬: 027-230-3322 栃木: 028-666-3399 茨城: 029-241-3131 成田: 0476-40-5811 茂原: 0475-24-1613

会務報告

第2回 総務委員会

平成26年6月5日(木)午後1時30分から、さいたま市「大宮ラフォーレ清水園」において次の事項を協議した。

1 会長挨拶

委員各位には、これまで総会運営について協議を重ねていただき、準備が整ってきた。円滑に総会が運営できることを期待する。

2 協議事項

- (1) 獣医学教育環境の整備・充実について
日本獣医師会の意向や理事会での審議結果等を踏まえて、今後の対応について協議した。
- (2) 第66回定時総会の開催について
総会当日の日程、進行計画、役割分担、祝寿表彰代表受賞者、新入会員の紹介方法等について協議した。
また、特に本年度新たに行う新入会員の歓迎「くす玉割り」の方法、及び来賓の出席状況も踏まえた懇親会の進行計画等、総会運営上の細部事項について協議した。
- (3) その他

第3回 総務委員会

平成26年6月11日(水)午前11時30分から、さいたま市「大宮ラフォーレ清水園」において次の事項を協議した。

1 中村副会長挨拶

本日の総会には多くの来賓や会員の方々が出席するが、円滑に運営できるよう委員各位の御協力をお願いする。

2 協議事項

- (1) 第66回定時総会開催に伴う確認事項について
総会の進行計画等について最終確認を行った。
- (2) その他

第2回 理事会

平成26年6月11日(水)午後0時10分から、さいたま市「大宮ラフォーレ清水園」において次の事項を審議した。

1 会長挨拶

本日の総会に当たっては、先ほど総務委員会を開催し、運営について万全を期していただいている。また、総会資料は既に会員に配布されており、各支部では議案等の内容が説明され、協議もいただいていることと思う。各理事には運営について再度確認をいただき、円滑な開催に向けて特段の協力を願いたい。

また、日本獣医師会が地方会とともに進めている3つの課題のうち、「公務員獣医師の処遇改善」については、本日、樋口埼玉県議会議長にお会いし、直接、要請していく。また、「獣医学教育環境の整備・充実」の件については、獣医療を巡る情勢等も踏まえ、その取扱いについて本日、審議を頂きたい。

2 決議事項

獣医学教育環境の整備・充実に関する件

「特区」制度を利用した獣医学部の新設の動きに対して、日本獣医師会としては、地方会と一丸となって対抗していくこととしていることから、本会としてもこれまでの検討状況を踏まえ、日本獣医師会の方向に即して、①獣医学分野の入学定員の抑制方針の緩和と獣医学部・獣医学科の新設には反対である、②これまでの議論を踏まえた獣医学教育の国際水準への改善・充実を強く要請する、ことを内容とした「我が国の獣医学教育の改善・充実に関する決議」が承認された。

3 協議事項

第66回定時総会開催等について
総会の進行計画等について最終確認を行った。

予 告

さいたま市支部学術講習会のお知らせ

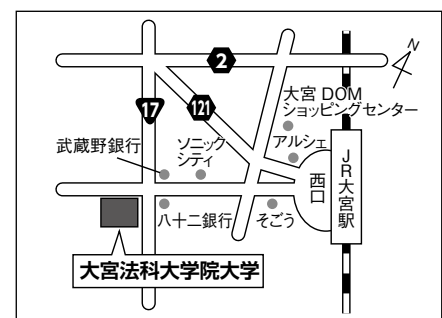
(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(2)(4))

さいたま市支部長 新井宣明

さいたま市支部では、平成26年8月24日(日)に東京動物心臓病センターの岩永孝治先生をお招きして「僧帽弁閉鎖不全症の外科適応と内科適応～循環器内科医の立場から～」と題して講習を行います。日常の診療で遭遇することの多い僧帽弁閉鎖不全症の最新知見についてご講義いただきます。

多くの先生方のご参加をお待ちいたします。

- 日 時** 平成26年 8 月24日(日)
13:30～16:30
- 場 所** 大宮法科大学院大学 2階 講堂
さいたま市大宮区桜木町4-333-13
TEL: 048-658-8101
- 演 題** 「僧帽弁閉鎖不全症の外科適応と内科適応
～循環器内科医の立場から～」
- 講 師** 東京動物心臓病センター
日本獣医循環器学会認定医 岩永孝治先生
- 参 加 費** 埼玉県獣医師会会員 無料
会員以外の受講者 5,000円



東支部学術講習会のお知らせ

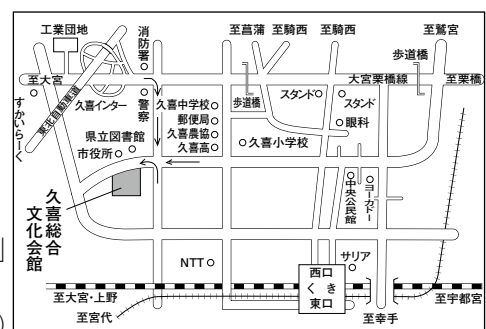
(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(1)(4))

東支部長 八木 賢裕

東支部では8月24日(日)日本小動物医療センター消化器科の中島亘先生をお招きし「犬と猫の消化管疾患診断アプローチと治療のコツ2014」と題し学術講習会を開催いたします。診療の中でも多く遭遇する消化器疾患を国内で見る機会が多い症例を中心に、できるだけ多くの症例の画像と動画、最新の学術論文を含めてご講演いただく予定です。

先生方のご参加をお待ちしています。

- 日 時** 平成26年 8 月24日(日)
14:30～18:00頃まで(受付14:00～)
(講演内容、休み時間などで多少前後いたします。)
- 場 所** 久喜総合文化会館 広域展示室
久喜市下早見140
TEL: 0480-21-1799
- 演 題** 「犬と猫の消化管疾患 診断アプローチと治療のコツ2014」
- 講 師** 日本小動物医療センター消化器科 中島 亘先生
- 参 加 費** 埼玉県獣医師会会員 1,000円(シラバス代、飲み物代含む)
会員以外の受講者 5,000円(シラバス代、飲み物代含む)



当日の講演内容の録音はお断りいたしております。皆様のご協力をお願いいたします。

新入会員報告

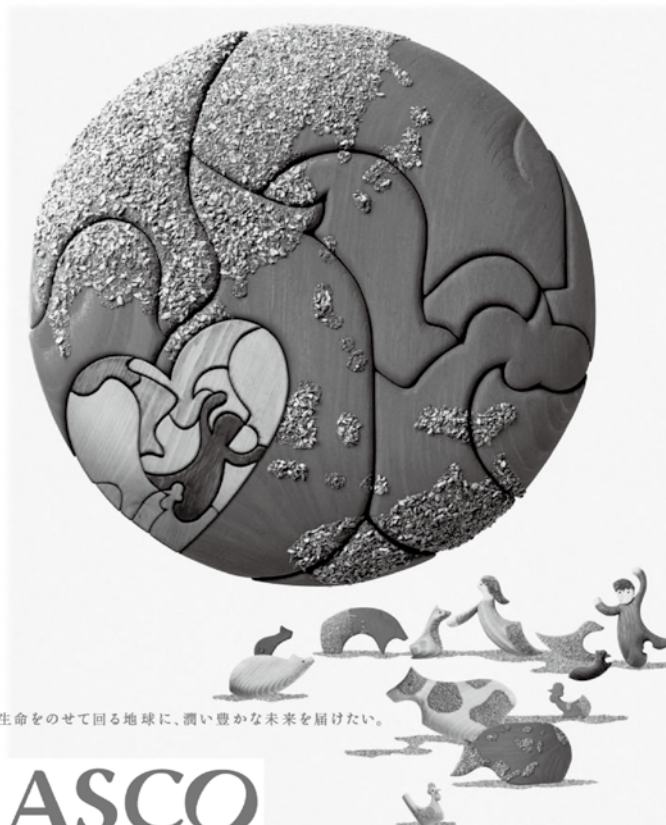
新 入 会 員 報 告

いしはら ひろき
石原 拓樹白岡市在住
衛生支部こうの ゆうか
河野 木綿佳狭山市在住
衛生支部ますだ あつし
増田 淳久喜市在住
衛生支部

勤務部会

支 部 名	氏 名	診療所名
衛 生	石原 拓樹	埼玉県食肉衛生検査センター
衛 生	河野 木綿佳	埼玉県狭山保健所
衛 生	増田 淳	埼玉県食肉衛生検査センター

広告



ASCO

株式会社 アスコ

<http://www.asco.sala.jp>国内広域展開の動物用医薬品ディーラー
人と動物の健やかな共生環境づくりに貢献します

本 社

〒441-8021
愛知県豊橋市白河町100番地TEL 0532-34-3821
FAX 0532-33-3611営業所
所在地

- ・東北支店
宮城、福島
- ・東日本支店
児玉、前橋、松本、旭、茨城、栃木
東京、大宮
- ・中日本支店
豊橋、安城、浜松、沼津、岐阜、名古屋
- ・西日本支店
広島、福山、山口、米子、岡山
大阪、京都

ひろば

新入会員の抱負

埼玉県獣医師会に入会して

南第一支部 大熊 恵理子
(エリーどうぶつの病院)



愛犬『金太郎』と近くの敷島神社にて

昨年、埼玉県獣医師会に入会させていただきました、大熊恵理子（おくまよりこ）と申します。2003年に北里大学を卒業し、都内、青森県、および埼玉県内の動物病院に勤務した後、平成25年1月、出身地である志木市にて「エリーどうぶつの病院」を開院いたしました。

私は幼少の頃より犬、猫、うずらやモルモットなどたくさんの生き物に囲まれて育ちました。獣医師を志した大きな理由は、動物が好きだったこととは別に、当時愛犬を手術してくださった女性獣医師の存在です。動物目線の優しさや心配りを感じ、「私もこうなりたい」と強く思ったからです。今考えると、子どもの頃に将来への夢や目標が持てたことは大変幸せなことでした。自らが恵まれた環境にあったことに感謝し、今度は自分が何らかの形で『子どもが生きがいの持てる社会作り』に貢献したいと考え、埼玉県獣医師会に入会させていただきました。

当会入会に際しましては、正直なところ不安だらけでした。どのような活動をするのだろう・・・周りの先生方とうまくやっていけるのだろうか・・・と。しかし、そのような不安がすぐに吹き飛ぶくらい、諸先輩方には温かく迎えていただきました。

特に朝霞分会ならびに南第一支部の先生方には本当に親切にいただき、心から感謝しております。大ベテランの先生からは、「娘と同じくらいの歳だから娘みたいなもんだ」と集合注射の時に丁寧にご指導いただきました。また、女性の先生方は女性開業獣医師ならではの悩みも聞いてくださいます。気さくに話せる先生ばかりなので、会合にも自然と足が向かいます。

私生活では、特に趣味もなく、基本的に家と職場の往復ばかりです……。健康のために始めた加圧トレーニングは、途中休んでいた時期もありましたがこれ5年ほどになり、昔より体力がついてきているのを感じています。自然の中で過ごすことが大好きで、時間ができると緑が多いところへ出かけたり、川で愛犬を泳がせたりして過ごしています。会員の先生方は仕事とプライベートをうまく両立されている方が多いように感じましたので、機会があればいろいろお話を伺い、参考にさせていただきたいです。

まだまだご迷惑ばかりかけている状態ですが、入会二年目となる今年は昨年以上に埼玉県獣医師会会員としての自覚を持ち、積極的に活動に参加したいと思っています。今後ともご指導のほど、よろしくお願いいたします。

お知らせ

平成26年度関東・東京合同地区獣医師大会（山梨）、獣医学術関東・東京合同地区学会の参加申込について

《本年度から、参加が事前登録となりました》
☆☆☆ 事前の申込みをお願いします ☆☆☆

本大会・学会への参加は、今年度から事前登録することとなりました。参加を希望される方は、8月8日（金）までに、下記事項（お知らせいただく内容）を事務局までお知らせください。

なお、この事前登録は、参加人数の的確な把握により円滑な開催を図るためのものであり、当日登録も可能ですが、参加希望の方は、極力、事前登録をお願いします。

また、「大会・学会参加費（4,000円）」及び「交流会参加費（6,000円）」は全て本会が負担することとし、開催事務局（山梨県）に前もって納入するため参加者負担金はございませんが、事前登録に当たっては、極力、変更の無いように併せてお願いします。

《お知らせいただく内容》	《連絡先》
・氏名	埼玉県獣医師会 事務局
・所属支部	住所：〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-340
・参加区分	（埼玉県農業共済会館内）
①「大会・学会」と「交流会」に参加	TEL：048-645-1906
②「大会・学会」のみに参加	FAX：048-648-1865
③「交流会」のみに参加	Eメール：s - vma@vesta.ocn.ne.jp

《大会・学会の概要》

※詳細は、会報606号、607号をご覧ください。

区 分	関東・東京合同地区 獣医師大会	日本産業動物 獣医学会	日本小動物 獣医学会	日本獣医公衆 衛生学会
日 時	平成26年 9 月 7 日 13:00～14:00	平成26年 9 月 7 日 午前の部 10:00～12:00 午後の部 14:15～16:15		
会 場	アピオ 中巨摩郡昭和町西条3600 TEL:055-220-6111			
	1 階 寿の間	3 階 富士の間	2 階 栄の間、扇の間	3 階 孔雀の間

[タイムスケジュール]

9:00～	10:00～12:00	12:00～13:00	13:00～14:00	14:15～16:15	17:15～19:15
受 付	学 会	昼 食	大 会	学 会	交 流 会
	動物用医薬品・機器等展示 2階 玉宝の間 10:00～16:00				

[交通]

- * JR 中央線 甲府駅より、タクシー約15分
- * 中央自動車道甲府昭和インターから、東京・大月方面に向かい、最初の信号を左折

みどり第 389-4号

平成26年 6 月18日

公益社団法人 埼玉県獣医師会
会長 高橋 三男 様

埼玉県環境部みどり自然課長 野口 典孝

鳥獣保護センターの開設について（通知）

日頃より、本県の自然保護行政の推進に御協力いただき御礼申し上げます。

このたび、平成26年 6 月25日から下記のとおり、鳥獣保護センターを開設することとなりました。

つきましては、一部業務に変更がありますのでお知らせするとともに、今後も引続き本県業務への御協力をお願い申し上げます。

記

- 1 名 称 鳥獣保護センター
- 2 所 在 地 川越市大字豊田本1082
- 3 運営時間 月曜～金曜（祝日・年末年始を除く）午前 9 時30分～午後 4 時
- 4 業務内容
 - (1) 高病原性鳥インフルエンザ検査及び不審死した野生鳥獣の胃内容物採取
（従来、農林部中央家畜保健衛生所で実施してきた業務）
 - (2) 傷病野生鳥獣の保護
現行の野生動物レスキュー事業で対応できない鳥獣の保護・飼養
 - (3) カミツキガメの処分
市町村、警察署などで緊急に捕獲されたカミツキガメの処分
- 5 業務委託先 公益財団法人 埼玉県生態系保護協会
- 6 業務の変更点等
 - (1) 野生鳥獣の不審死に係る業務
野生鳥獣の不審死が発生した場合の高病原性鳥インフルエンザ検査及び胃内容物採取を実施する機関の変更

（変更前）
（変更後）

農林部中央家畜保健衛生所 → 鳥獣保護センター
 - (2) 傷病野生鳥獣の保護
 - ・ 現行の野生動物レスキュー事業は継続するが、診療機関、保護ボランティア登録者が保護することができない鳥獣に限り保護・飼養する。
 - ・ 必ず、みどり自然課を通じて、鳥獣保護センターへ搬入する。
 - ・ 一般県民等からの直接の受入れは行わない。
 - (3) カミツキガメの処分
カミツキガメの搬入先の変更

（変更前）
（変更後）

みどり自然課 → 鳥獣保護センター

担当 野生生物担当 野澤

電話 048-830-3143

26日 獣発第83号
平成26年 6月17日

地方獣医師会会長各位

公益社団法人 日本獣医師会
会長 藏内 勇夫
(公印及び契印の押印は省略)

狂犬病予防注射済証等の証明書に使用する筆記具について

このことについて、平成26年 6月10日付け26動検第288号をもって、農林水産省動物検疫所長から別添のとおり通知がありました。貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

このたびの通知は、本年 4 月、痕跡が残らずに書き直せる「消せるボールペン」を悪用した不正についての報道をうけて、農林水産省動物検疫所にて犬等の輸出入検査時に申請者から提出を受けた狂犬病予防接種済証をはじめとする各種証明書を確認したところ、当該筆記具を使用して作成された証明書が見つかったことから、獣医師が記載した内容が変更され、狂犬病予防接種済証等の各種証明書が改ざんされるおそれのないよう、証明書を作成する際は、容易に消せる筆記具を使用しないよう、本会会員へ周知を依頼されたものです。



26動検第288号
平成26年 6月10日

公益社団法人 日本獣医師会会長 殿

農林水産省動物検疫所長
(公印及び契印の押印は省略)

狂犬病予防注射済証等の証明書に使用する筆記具について

貴会におかれましては、日頃から動物検疫業務に御理解と御協力いただきありがとうございます。

本年 4 月、痕跡が残らずに書き直せる「消せるボールペン」を悪用した不正についての報道があり、これを受けて、当所にて犬等の輸出入検査時に申請者から提出を受けた狂犬病予防接種済証をはじめとする各種証明書を確認したところ、「消せるボールペン」を使用して作成された証明書が見つかりました。このような筆記具の使用により、獣医師の皆様が記載した内容が変更され、発行いただいた狂犬病予防接種済証等の各種証明書が改ざんされるおそれがあります。

つきましては、貴会におかれましては、このような事例が発生することのないよう、証明書を作成する際は、鉛筆や「消せるボールペン」等の容易に消せる筆記具を使用しないよう会員への周知方よろしくお願いいたします。

26日 獣発第87号
平成26年 6月19日

地方獣医師会会長各位

公益社団法人 日本獣医師会
会長 藏内 勇夫
(公印及び契印の押印は省略)

「薬事法及び薬剤師法の一部を改正する法律」等の施行について

このことについて、平成26年6月12日付け26消安第1429号をもって、農林水産省消費・安全局長から別添のとおり通知がありました。貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

このたびの通知は、①「薬事法及び薬剤師法の一部を改正する法律」が平成25年12月13日に公布され、同法のうち医薬品の販売業等に関する規制の見直しに係る規定については、平成26年 6月12日から施行されたこと、②「薬事法施行令の一部を改正する政令」が同じく平成26年 6月12日から施行されたこと、③「動物用医薬品等取締規則の一部を改正する省令」が同日から施行されたこと、④これらの改正に伴い、「薬事法関係事務に係る技術的な助言について」が別紙の新旧対照表のとおり改正され、同日から施行されたこと、⑤併せて、「薬事法の一部を改正する法律等の施行について」が廃止されたこと、⑥これらの改正の趣旨・内容等については、別添を参考にされたいこと、の以上のことについて、都道府県知事に通知した旨、連絡をうけたものです。

※別添通知 略

※ 本通知は、医薬品の販売制度に係る薬事法の改正等についての通知ですが、動物用医薬品は人用医薬品と同じ薬事法の適用を受け、また特に、要指示医薬品の適正な販売及び使用は獣医師の先生方が交付する指示書が要となることから、適正に指示書が交付され、指示書に基づき動物用医薬品が正しく使用されるようご協力をお願いする趣旨も含めて、農林水産省消費・安全局長から通知されたものです。

なお、通知の内容及び解説については、日本獣医師会のホームページ及び日本獣医師会雑誌67号（平成24年 6月号）をご欄下さい。

第23回 県獣ボウリング同好会親睦大会 開催のお知らせ

ボウリング同好会事務局 斎藤 和也

ボウリング同好会の第23回競技会を下記のとおり開催いたします。今回は日曜日の夕方開催になります。家族・従業員の参加もOKです。ご家族そして職場仲間と一緒に、参加してください。

記

日 時 平成26年 7 月20日(日)
集 合 午後 3 時40分
競技開始 午後 4 時00分

場 所 スポーツ浦和国际ボウル
 さいたま市桜区中島 4-1-1
 TEL 048-853-4921

会 費 大人 2,500円
 子供 1,500円

競 技 3 ゲーム合計点で競います。
 初心者、年齢、アベレージ
 などを考慮しハンディキャップを設定します。

表彰式 競技終了後、表彰式を行います。

参加申込 7月16日(水)までに、下記申し込み用紙に必要事項を記入して、同好会事務局までFAXしてください。



ボウリング同好会事務局 行

FAX 048-855-5504

FAX 用申込用紙

参加者氏名	支 部	年 齢	初参加のみ記入 アベレージor 初心者

切り抜きニュース

犬を「暑さ」から守ろう
どうぶつと生きる

6月に入り、早くも各地で夏日や真夏日を記録するなど、「飼い犬がすでにバテ気味」というお宅も少なくないのでは。体温調節が難しい犬にとって、暑さは大敵。本格的な夏を前に、愛犬の健康を守るポイントを専門家に聞いた。

犬は呼吸によって体内の熱を放散し、体温調節をしている。汗腺がほとんどなく、人間のように発汗で体温を下げることはできない。このためいったん体温が上がると、すぐには下げづらく、人間より熱中症になりやすい。

●熱中症と温度管理

グレース動物病院(東京都杉並区)の小林豊和院長(51)は「犬に熱中症が起こり得る気温の目安は22度以上」という。多湿であるほど発症の危険は高くなるので、「エアコンを利用するなど犬周辺の温度管理が何よりも大切」と話す。また室内外にケージを置く場合は、日が当たらない環境作りも忘れてはならない。

熱中症の初期段階のシグナルの一つが、犬の息遣いだ。いつもより呼吸が荒くなった時は注意が必要。水を飲ませるとともに、体に水をかけたり、

保冷剤を首や足の付け根などに当てたりして、冷やしてあげよう。手当てを怠れば、「重症になるまであまり時間はかからない」と小林院長。死に至るケースもあるという。

ペット保険会社「アニコム損害保険」(同新宿区)によると、熱中症を理由とする保険金請求件数は5～9月に増えるという。「飲み水が空だった」「エアコンが暖房設定だった」など、ちょっとした不注意が愛犬の命を危険にさらす。同社獣医師の小川篤志さん(30)は「飼い主が気遣うことで熱中症は防げます」と強調する。

犬は温度の高い地面近くで過ごすため、飼い主の配慮が欠かせない。犬の周りの温度と湿度を測り、危険度が高まるとブザーとランプで知らせてくれるのは「愛犬の熱中症チェッカー」(ペットライン、5378円)。犬のケージやリードに取り付けて使う。

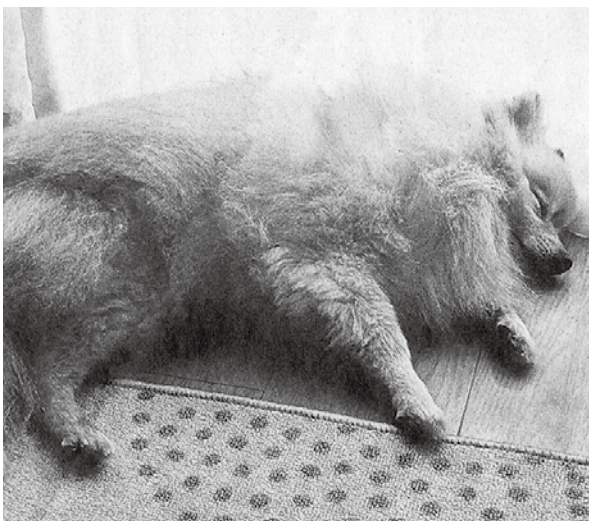
留守中に活用できるサービス「ペットフィット」(NTTドコモ、2万7972円)は、首輪に付けるタグを通し、犬の周辺温度が分かる。設定温度を超えると指定したアドレスにお知らせメールが届くシステムがあり、停電や故障でエアコンが止まった場合などに早く気づくことができる。

●肉球のやけど注意

夏場は外気だけでなく、太陽に熱せられた地面も高温になるので、散歩に出る時は要注意。アスファルトや砂浜などの熱が、肉球にも負担を与えからだ。アニコム損保によると、夏場では7～9月にやけどによる保険金請求件数が多いという。肉球をやけどした場合、赤く皮がむけたような状態になる。散歩から帰宅後、肉球を触るのを嫌がったり、肉球をしきりになめたりなどしていたら、獣医師に相談してみよう。

犬のプニプニとした肉球は愛らしさの象徴だけではないのだ。「肉球ケアクリーム」(617円)を販売するDHC(同港区)で、愛犬相談を受ける健康食品相談室の獣医師、金子家敏さん(62)は「肉球は犬の健やかな生活のために重要な部位」と話す。肉球には、靴底のように足への衝撃を吸収するとともに、足裏を保護する役割がある。また、神経や血管が豊富で、触覚・圧覚・痛覚・温度を感じ取り、唯一、汗をかくことができる場所でもあるのだ。

「傷つきやすい状況を作らないこと」と金子さん。肉球の表面は硬い皮膚で覆われているが、内部は脂肪と弾性繊維などで構成されている。とがった物などを踏みケガをしても、体重を支える



家の中でも熱中症の危険はある。エアコンの利用などでこまめな温度管理を心がけよう＝池乗有衣撮影

肉球は傷口がふさがりにくい。

また、肉球が乾燥して硬くなるとひび割れたり、滑りやすくなったりすることもある。乾燥は老化のほか、外気やエアコンの影響、散歩による摩擦などが原因で起きる。予防には保湿が欠かせず、肉球用の保湿クリームを使うのも有効だ。

●散歩は早朝や夜に

熱中症や肉球のやけどから愛犬を守るために、金子さんは「散歩は涼しい早朝や夜に」と勧める。どうしても暑い時間帯に行く場合は、犬用の水を携帯▽保冷剤を首や体に巻く▽靴を履かせる一」などの準備をしたい。できるだけ土の上や日陰を歩くなど常に愛犬への気配りを忘れずに、なるべく短時間で済まそう。

熱中症の原因になりやすい注意点

からだ編

- ・短頭種（鼻ぺチャなフレンチブルドッグ、シーズーなど）
- ・太っている（脂肪は体の熱を閉じ込める）
- ・持病がある（心臓や呼吸器の病気など）
- ・脱水（いつでも水が飲める状態にない）
- ・足が短い（ミニチュアダックスフントのように地面に体が近い）

環境編

- ・引っ越しや旅行（激しい気温差、湿度も要注意）
- ・高室温（扇風機やエアコンを使用していない）
- ・日中の散歩
- ・ドッグラン（激しい運動で脱水の恐れ）
- ・車内（エアコンをつけていても留守番に最も危険な場所）

※アニコム損害保険の資料を基に作成



④犬のリードやケージに取り付けて使う「愛犬の熱中症チェッカー」＝ペットライン提供
 ⑤首輪に付けたタグを通し、離れていても犬の周辺温度が分かる「ペットフィット」＝NTTドコモ提供

【池乗有衣】
 毎日新聞 6月21日

狂犬病予防法違反疑い 静岡中央署男女8人書類送検

静岡中央署は20日、飼い犬を市に登録していなかったり狂犬病予防の注射を受けさせていなかったりしたとして、狂犬病予防法違反の疑いで、静岡市葵区の自営業の女性(49)ら男女計8人を静岡地検に書類送致した。

男女7人の送検容疑は、犬を飼ってから30日以内に登録を申請せず、毎年1回の狂犬病の予防注射も受けさせていなかった疑い。もう1人の男は、登録はしていたものの、予防注射を受けさせていなかった疑い。

同署によると、犬はいずれも昨年6月から今年1月までの間に迷い犬として同署に届けられるなどした。プードルやミニチュアダックスなど小型犬が中心で、知人などからの譲り受けが大半だった。8人は容疑を認めた上で、「法律を知らなかった」などと話しているという。

静岡新聞 5月20日夕刊

無免許で犬にワクチン 容疑の元経営者ら2人に逮捕状

獣医師免許がないのに販売用の子犬にワクチンを注射した疑いが強まったとして、警視庁生活環境課が17日、獣医師法違反の疑いで、元ペットショップ経営者＝東京都八王子市＝ら2人の逮捕状を取ったことが捜査関係者への取材で分かった。同課は18日にも2人を逮捕する方針とみられる。

捜査関係者によると、元経営者は東京都港区でペットショップを運営していた。元従業員と共謀し、獣医師免許がないのに、販売用の子犬にワクチンを注射した疑いがもたれている。

元経営者は日本経済新聞の取材に「免許がないのにワクチンを注射した」と認め「(合法と違法の)グレーゾーンだと思っていた」と説明した。

警視庁は昨年12月以降、港区のペットショップや元経営者の自宅などを獣医師法違反容疑で家宅搜索。関係書類やパソコン、注射針などを押収していた。生活環境課は今後、ワクチンの入手経路などを調べる。

日本経済新聞 6月18日

平成26年度埼玉県獣医師会学術広報版

(平成26年 6 月20日現在)

年 月 日	産 業 動 物	小 動 物	公 衆 衛 生
6 月14日(土) ～15日(日)	第88回獣医麻酔外科学会／第100回日本獣医循環器学会／第55回日本獣医画像診断学会 2014春季合同学会 (さいたま市 大宮ソニックシティ)		
6 月22日(日)		南第一支部・南第二支部 「獣医病理学をもっと身近に感じるために ～専門医の立場から～」 どうぶつの総合病院病理科 近藤広孝 先生 (さいたま市 埼玉会館)	
8 月24日(日)		さいたま市支部 「僧帽弁閉鎖不全症の外科適応と内科適応 ～循環器内科医の立場から～」 東京動物心臓病センター日本獣医循環器 学会認定医 岩永孝治 先生 (さいたま市 大宮法科大学院大学)	
8 月24日(日)		東支部 「犬と猫の消化管疾患診断アプローチと 治療のコツ2014」 日本小動物医療センター消化器科 中島亘 先生 (久喜市 久喜総合文化会館)	
9 月 7 日(日)	平成26年度 関東・東京合同地区獣医師大会 (山梨) 獣医学術関東・東京合同地区学会 (山梨県中巨摩郡昭和町 アピオ)		
9 月21日(日)		東支部 「演題：未定」 どうぶつ眼科eye vet 小林一郎 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
10月17日(金)	北支部・八日会 「仔牛の免疫について」 北里大学獣医学部大動物臨 床学研究室 講師 大塚浩通 先生 (熊谷市 熊谷家畜保健衛生所)		
10月19日(日)		西支部 「内分泌を極める 副腎」 東京大学 松木直章 先生 (川越市 川越南文化会館)	
10月26日(日)		北支部・八日会 「前肢の歩行異常を見極める」 日本大学生物資源学科獣医外科学教室 枝村一弥 先生 (本庄市 児玉文化会館セルディ)	

年 月 日	産 業 動 物	小 動 物	公 衆 衛 生
10月26日(日)		東支部 「演題：未定」 コーネル大学獣医外科学 アソシエイトプロフェッサー 林慶 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
12月 7 日(日)		南第一支部・南第二支部 「仮題：呼吸器疾患」 日本獣医生命科学大学 藤田道郎 先生 (さいたま市 埼玉会館)	
12月14日(日)		北支部・八日会 「後肢の歩行異常を見極める」 日本大学生物資源学科獣医外科学教室 枝村一弥 先生 (本庄市 本庄商工会議所)	
12月21日(日)		西支部 「内分泌を極める 甲状腺」 東京大学 松木直章 先生 (川越市 川越南文化会館)	
12月	農林支部 平成26年度 埼玉県家畜保健衛生業績発表会		
平成27年 2月 1 日(日)		さいたま市支部 「演題：未定」 近藤広孝 先生 (場所：未定)	
2月13日(金) ～15日(日)	平成26年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会（岡山） (岡山市 岡山コンベンションセンターほか)		
2月	農林支部 関東甲信越家保業績発表会		衛生支部 健康福祉研究発表会 食肉衛生技術研修会
3月		西支部 「演題：未定」 講師：未定 (場所：未定)	

事務局より

事務局メモ

ホームページ会員専用ページ 入室は URL <http://www.saitama-vma.org/>

ID:SVMA (半角・大文字) パスワード:MITSU0 (半角・大文字)

- | | | |
|-----------|--|--|
| 5月25日 | さいたま市支部総会(さいたま市 ブリランテ武蔵野) | 獣医師会理事会・幹事会(山梨県甲府市 ニュー芙蓉) |
| 5月25日 | 南第一支部総会(さいたま市 浦和ロイヤルパインズホテル) | 7月15日 第1回狂犬病予防委員会・班長会議(さいたま市 大宮ラフォーレ清水園) |
| 5月25日 | 東支部総会(越谷市 越谷サンシティ) | 7月18日 日本獣医師会全国獣医師会事務・事業推進会議(兵庫県神戸市 神戸ポートピアホテル) |
| 5月28日 | 西支部総会(東松山市 紫雲閣) | 8月24日 さいたま市支部学術講習会(さいたま市 大宮法科大学院大学) |
| 5月28日 | 北支部総会(深谷市 埼玉グランドホテル深谷) | 8月24日 東支部学術講習会(久喜市 久喜総合文化会館) |
| 5月28日 | 日本獣医師会第1回理事会(東京都港区 日本獣医師会) | 9月7日 平成26年度関東・東京合同地区獣医師大会(山梨)(山梨県中巨摩郡昭和町 アピオ) |
| 5月30日 | 南第二支部総会(北本市 中丸公民館) | 9月21日 東支部学術講習会(越谷市 越谷サンシティ) |
| 6月5日 | 第2回総務委員会(さいたま市 大宮ラフォーレ清水園) | 10月3日 日本獣医師会第2回全国獣医師会会長会議(場所 未定) |
| 6月6日 | 埼玉県畜産会第59回通常総会(熊谷市 埼玉県農林総合研究センター) | 10月4日 日本獣医師会主催2014動物感謝デー in JAPAN |
| 6月10日 | 埼玉県農業共済組合連合会第66回通常総会(さいたま市 埼玉県農業共済会館) | 10月13日(予定)第37回埼玉県獣医師会ソフトボール大会(吉見町 吉見総合運動公園) |
| 6月11日 | 第3回総務委員会(さいたま市 大宮ラフォーレ清水園) | 10月17日 北支部・八日会合同学術研修会(熊谷市 熊谷家畜保健衛生所) |
| 6月11日 | 第2回理事会(さいたま市 大宮ラフォーレ清水園) | 10月19日 西支部学術講習会(川越市 川越南文化会館) |
| 6月11日 | 埼玉県獣医師会第66回定時総会(さいたま市 大宮ラフォーレ清水園) | 10月26日 北支部・八日会合同学術研修会(本庄市 児玉文化会館セルディ) |
| 6月12日 | 第35回関東しゃくなげ会研修会(東京都台東区 上野精養軒) | 10月26日 東支部学術講習会(越谷市 越谷サンシティ) |
| 6月14日～15日 | 第88回獣医麻酔外科学会・第100回日本獣医循環器学会・第55回日本獣医画像診断学会 2014春季合同学会(さいたま市 大宮ソニックシティ) | 12月7日 南第一支部・南第二支部合同学術講習会(さいたま市 埼玉会館) |
| 6月18日 | 農場管理獣医師協会平成26年度総会(熊谷市 ホテル・ヘリテージ) | 12月14日 北支部・八日会合同学術研修会(本庄市 本庄商工会議所) |
| 6月22日 | 南第一支部・南第二支部合同学術講習会(さいたま市 埼玉会館) | 12月21日 西支部学術講習会(川越市 川越南文化会館) |
| 6月24日 | 埼玉県狂犬病予防協会役員会(さいたま市 さいたま商工会議所会館) | 平成27年 |
| 6月26日 | 日本獣医師会第1回全国獣医師会会長会議(東京都港区 明治記念館) | 2月1日 さいたま市支部学術講習会(場所 未定) |
| 6月27日 | 日本獣医師会第2回理事会(東京都港区 明治記念館) | 2月13日～15日 平成26年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会(岡山)(岡山県岡山市 岡山コンベンションセンターほか) |
| 6月27日 | 日本獣医師会第71回通常総会(東京都港区 明治記念館) | |
| 7月13日 | 平成26年度第2回関東・東京合同地区 | |

編集後記

第66回定時総会も会員諸先生方のご理解により、議案が全て承認され新年度事業がスタートしました。役員は会員とともに心一つとして県民への奉仕に心掛けたいものです。

関東地方も梅雨入り後、梅雨前線が沖縄から東の海上に停滞しているため西日本では豪雨に見舞われています。関東地方上空には強い寒気が南下しているため、南方海上からの暖気が昼間の気温の上昇とともに上昇気流となり関東地方で積乱雲を形成し雷雨や《雹》となりました。子供のころは、昼間の気温上昇で地上の水分が蒸発して積乱雲を形成すると思い込んでいたのですが、最近の気象解説や気象レーダー情報からもっと広域の南太平洋の湿った大気が積乱雲の原因であることを知らされました。太平洋高気圧にしても赤道付近の南太平洋における1～2℃の海水温上昇が大規模な上昇気流の源となり、その気流が落下するときの気圧上昇が太平洋高気圧と知らされました。埼玉の地から眺める雲も遠く赤道地域から蒸発した水分が、中国江南地帯とともに日本列島の稲作地帯を潤す雨となっていることに思いを馳せると、地球規模で考えたとき、中国、朝鮮半島や日本列島に住む人々、すなわち東アジア地域の運命共同体を強く感じます。

6世紀以前は東アジアを流動していた人々も、中国大陸に隋や唐という大帝国が建国され、それに対抗するように朝鮮半島は新羅による統一、モンゴルの草原には騎馬民族国家の突厥が成立し、日本列島も天智・天武の兄弟天皇により統一国家が成立し人々は王権に服属して定住するようになりました。都も難波から飛鳥へ移動し、唐からの侵略に備えさらに内陸の大津へと遷都され、唐の侵略が西域へと方向転換されると臨戦態勢の緊張感から解放され、難波の港

に近く交易の可能な飛鳥藤原宮から平城京へと再び都が移されました。国家形成とともに、朝鮮半島や中国東北地方をルーツとして東アジアを流動していた我々の祖先たちは、それぞれの地域で国家の一員となり独自の文化を形成するようになったといわれています。現代では、地域・人種や民族を超え経済上の損得で人々は離合集散を繰り返しているようです。TPPではアメリカ大陸の人々の主導権のもと、協力関係を構築することに熱心である一方で、ルーツを同じくする東アジアの人々とは少しだけ距離感ができるような気配を感じます。儒教や仏教という人間の深層における共通基盤を有し、水田稲作に生活基盤を持つ東アジアの人々との連携強化は、歴史の時間を逆回しするという意味でなく、発展させる意味で鍵となることかもしれません。ギリシャ哲学・近代西洋哲学を基盤とし、人智が自然を支配することを理想として発展した西洋科学文明は、原子力エネルギーの破綻に象徴されるように、すでに限界が見えています。今後の世紀は、東洋思想を基盤とし自然との調和を基調とする循環型社会を目指すことが人類生存の選択肢のように思われます。

獣医学は、《自然の摂理》を明らかにする学問と言われています。生命現象の法則性、通常 of 生命の営みを阻害する原理・原則を明らかにすることにより、生命体が病を得てあるいは老いて死を迎える必然を従容として受け入れられる心を醸成することこそ求められることではないでしょうか。

埼玉の地に起居はするものの、心は東アジアを基盤とし地球規模での獣医学のDevelopment and unfoldingを心がけたいものです。

(初雁)



コスモ理研株式会社

感染性廃棄物・廃試薬・有害産業廃棄物の処理のパイオニア

産廃エキスパート・専門性適合
エコアクション21認証・登録
東京都臨床検査技師会指定業者

地球環境への道しるべ "あんしん"への道

30余年の経験と実績

試薬 実験廃液
ホルマリン
アルコール
医療器具・劇薬物品等

学 校
研究施設

病 院
医療施設

感染性廃棄物
注射針・メス・検査キット
実験動物・組織等
医療廃棄物全般

残った消毒液
パソコン
汚泥
期限切れ防災用品等

役 所

検査機関

各種廃液
有機・無機・重金属・
砒素・シアン・クロム
水銀化合物等
医薬品、実験器具

処理困難物（内容不明な廃液・試薬）水銀含有物、レセプト、医療機器等々、
その他処分にお困りのものがございましたら、先ずはお気軽にお問い合わせ下さい。



これらの廃棄物は、
㈱フレハ環境、
野村興産㈱、
東京臨海リサイクル㈱、
群馬環境リサイクルセンター㈱
シンシア㈱、
都築鋼産㈱等で
処分を行っています。

本 社:〒111-0053 東京都台東区浅草橋1-34-7 TEL 03-5820-1229 FAX 03-5687-6030

コスモフレッシュ

安定化二酸化塩素水溶液
二酸化塩素ゲル

最先端化学技術
から生まれた
空間除臭・除菌剤

接触感染防止
塩素の3倍
飛沫感染防止
塩素の2.6倍

コスモフレッシュの効果
二酸化塩素徐放技術によって、
単なる消臭剤や芳香剤には不可能な
【除菌】【消臭】【分解】
の3つの効果で
空間全体を衛生的な状態に保ちます

除菌 消臭

製品ラインナップ

防カビ

ウイルス
除去

細菌やカビ臭いの元に
直接作用して分解除去

動物の気になる
臭いにも絶大な
効果を発揮します



安定化二酸化塩素液
対象物に直接吹きかけて使用する
特徴は強力な消臭効果



二酸化塩素ゲル（専用ファン付）
空間に二酸化塩素を発生させる
特徴は強力な除菌効果

製品に関する
お問い合わせは
コスモ理研様まで

本 社	〒111-0053 東京都台東区浅草橋1-34-7	TEL 03-5820-1229
東 支	〒146-7117 茨城県水戸市内原町1467-17	TEL 029-259-2951
京 支	〒107-7117 千葉県八千代市妻丸1077-1	TEL 047-458-4057
神 支	〒70-3 埼玉県越谷市恩間新田70-3	TEL 048-978-2621
奈 支	〒7-17-13 神奈川県川崎市多摩区長尾7-17-13	TEL 044-866-4506
群 支	〒133-4 群馬県太田市丸山町1334	TEL 0276-36-1888

ACTY



ミルクが出ない



太りすぎ



卵が少ない

そんな悩みを

わかっていてくれる。



治りが遅い



高齢化



食欲がない

アクティは大切な動物の健康をサポートします。

私共、アクティ動薬事業部は、動物病院ならびに
牛、豚、鶏などの産業動物を対象とした
動物用医薬品、特別療法食、医療機器等の販売をしています。
20世紀は抗生物質の時代、
21世紀は生菌製剤の時代といわれるように、
健康に関する考え方も大きく変化してきています。
私たちは、獣医療を支えている関係者、畜産農家、
ペットオーナーの皆様方と共に、健康で、豊かで、安心な
生活を営んでいけるように、力を注いでまいります。

本社・長野県営業部

〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村8228
TEL:0263-87-7247 FAX:0263-87-7247

北関東営業所

〒370-1135 群馬県佐波郡玉村町板井870
TEL:0270-65-0552 FAX:0270-65-0553

さいたま営業所

〒338-0004 埼玉県さいたま市中央区本町西5-3-24
TEL:048-611-6111 FAX:048-611-6116

千葉営業所

〒260-0851 千葉県千葉市中央区矢作町243
TEL:043-308-0221 FAX:043-308-0223

茨城営業所

〒311-4152 茨城県水戸市河和田1丁目1642-1
TEL:029-306-8271 FAX:029-251-3880

アクティ株式会社

<http://www.acty-kk.com>